

令和7年度
奥州市学校支援地域本部事業
成果報告書



奥州市教育委員会
奥州市学校支援地域本部実行委員会

目 次

1	はじめに	2
2	奥州市学校支援地域本部事業の構成	5
3	成果報告	
	(1) 水沢中学校支援地域本部	11
	(2) 東水沢中学校支援地域本部	13
	(3) 水沢南中学校支援地域本部	15
	(4) 江刺第一中学校支援地域本部	18
	(5) 学校支援前沢地域本部	23
	(6) 胆沢中学校支援地域本部	26
	(7) 衣川中学校支援地域本部	29
4	研修活動、広報活動報告	
	(1) 研修活動	35
	(2) 広報活動	36
5	資料	
	●学校支援地域本部事業に関する調査	
	【対象：学校支援ボランティア】集計結果.....	40
	【対象：事業実施校（教員）】集計結果.....	56
	【対象：事業実施校（児童・生徒）】集計結果.....	64
	●奥州市学校支援地域本部実行委員会名簿.....	68

1 はじめに

奥州市が平成 20 年度に地域の教育力向上を目指し、当事業を開始してから今年度で 18 年が経過しました。今年度も、市内全小中学校 25 校を本事業の対象として、地域コーディネーターをはじめ、地域のボランティアの皆様の協力により、授業の補助、読書活動の支援、校外活動の安全見守り等の学校支援活動が行われ、教育活動の充実を図ることができました。

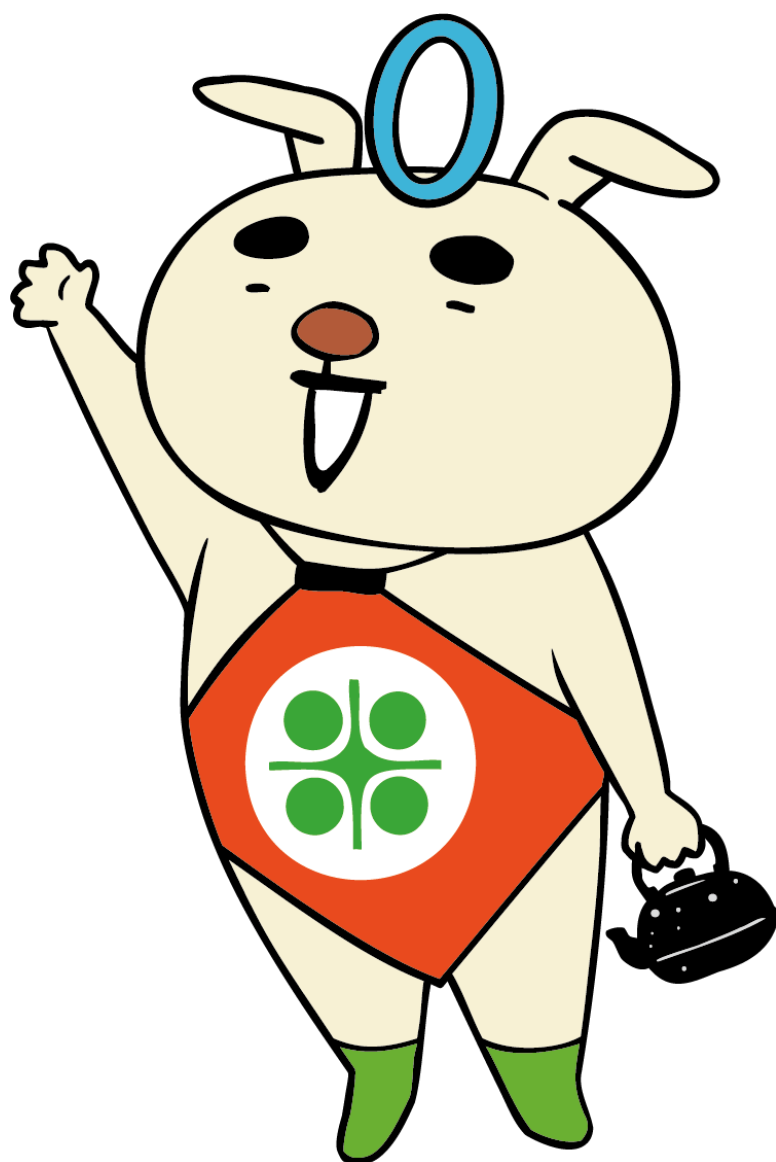
さて、令和 5 年度から、「社会に開かれた教育課程」を実現するための仕組みであるコミュニティ・スクールが、市内の小中学校全てにおいて始まっています。その中では、目指す子どもの姿を学校、地域住民で共有し、主体的に教育活動に参画していくことが求められます。この学校支援地域本部においてもこれまで築いてきた体制を生かし、コミュニティ・スクールと連携・協働し、取組を進めてまいります。

今後も学校支援地域本部事業の推進について、ますますのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 3 月

奥州市学校支援地域本部実行委員会

2 奥州市学校支援地域本部事業の構成



2 奥州市学校支援地域本部事業の構成

(1) 事業の目的

地域の特性・特色を生かした「学校と地域の協働による学校支援体制」づくりを推進することにより、学校環境全体の支援を行うとともに、地域住民と学校との連携強化に力を入れ、まだまだ眠っている地域の力を掘り起こすことにより地域の教育力の向上を図る。

(2) 事業期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(3) 事業内容

ア 実行委員会

- (ア) 実行委員会の開催（年2回）
- (イ) 広報活動の実施
- (ウ) 地域コーディネーター等の養成
- (エ) 学校支援ボランティアの養成
- (オ) アンケート調査の実施
- (カ) 成果報告書の作成

イ 各地域本部

地域本部名	本部構成校
水沢中学校支援地域本部	水沢中学校、水沢小学校、佐倉河小学校
東水沢中学校支援地域本部	東水沢中学校、常盤小学校、羽田小学校
水沢南中学校支援地域本部	水沢南中学校、水沢南小学校、真城小学校、姉体小学校
江刺第一中学校支援地域本部	江刺第一中学校、岩谷堂小学校、江刺愛宕小学校、田原小学校、稲瀬小学校、江刺ひがし小学校
学校支援前沢地域本部	前沢小学校、前沢中学校
胆沢中学校支援地域本部	胆沢中学校、胆沢第一小学校、南都田小学校、若柳小学校
衣川中学校支援地域本部	衣川中学校、衣川小学校、衣里小学校

- (ア) 地域コーディネーターの配置（各地域本部に配置）
- (イ) 広報活動の実施
- (ウ) 学校支援ボランティア募集

(4) 各学校支援地域本部の活動状況

ア 水沢中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援人材バンク登録募集とリストの作成 ・地域ボランティア（打合せ、読み聞かせ、ペープサート台本・絵作成、校内装飾作成・撤去、本修理、ミシン授業補助等）の実施
7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア（読み聞かせ、ペープサート・紙芝居作成、校内装飾、ブックカバー、家庭科ミシン補助等）の実施
10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア（読み聞かせ、ペープサート練習、校舎内装飾、ミシン補助・調整等）の実施
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア（読み聞かせ、ペープサート、校内装飾、本修理、授業補助等）の実施

イ 東水沢中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集の働きかけ
7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集の働きかけ ・1年家庭科実習の補助・見守り
10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集の働きかけ ・1年家庭科実習の補助・見守り
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集の働きかけ ・1年家庭科実習の補助・見守り

ウ 水沢南中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域教育協議会資料づくり ・学校、ボランティアとの連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施
7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、ボランティアとの連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施
10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、ボランティアとの連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書等作成 ・活動の実施・学校、ボランティアとの連絡調整 ・次年度活動計画

エ 江刺第一中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・一中学区支援ボランティア募集チラシ案作成 ・ボランティアの募集と連絡調整 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・広報誌作成
7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・ボランティアの募集と連絡調整 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・広報誌作成
10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・ボランティアの募集と連絡調整 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・広報誌作成
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・各校が必要とするボランティア活動の確認 ・ボランティア活動の実施 ・活動の記録（写真撮影、共有サイトに掲示） ・報告書作成

オ 学校支援前沢地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成
7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成 ・コーディネーター情報交換会参加
10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施 ・学校、ボランティアとの連絡調整、依頼文書作成

カ 胆沢中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	広報(チラシの作成配布掲示等) 地域協議会資料作成、開催 事業計画書作成 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)等研修会受講 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム受講 打ち合わせ、ボランティア連絡 消耗品注文、記録
7～9月	打ち合わせ、ボランティア連絡 第一回実行委員会 ボランティア交流会 学校と地域の連携・協働研修会受講 活動準備、記録 市地域コーディネーター情報交換会
10～12月	打ち合わせ、ボランティア連絡 活動準備、記録
1～3月	打ち合わせ、ボランティア連絡 消耗品注文 事業報告書作成 市地域コーディネーター情報交換会

キ 衣川中学校支援地域本部

時期	地域コーディネーター活動内容
4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・担任との打ち合わせ、連絡調整 ・学校支援ボランティア活動の実施
7～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施
10～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施
1～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの募集、連絡調整 ・学校支援ボランティア募集 ・学校支援ボランティア活動の実施

奥州市学校支援地域本部

奥州市学校支援地域本部実行委員会 【生涯学習スポーツ課】

水沢中学校 支援地域本部	東水沢中学校 支援地域本部	水沢南中学校 支援地域本部	江刺第一中学校 支援地域本部	学校支援 前沢地域本部	胆沢中学校 支援地域本部	衣川中学校 支援地域本部
水沢中学校	東水沢中学校	水沢南中学校	江刺第一 中学校	前沢小学校	胆沢中学校	衣川中学校
水沢小学校	常盤小学校	水沢南小学校	岩谷堂小学校	前沢中学校	胆沢第一 小学校	衣川小学校
佐倉河小学校	羽田小学校	真城小学校	田原小学校	前沢小学校	南都田小学校	衣里小学校
		姉体小学校	江刺ひがし 小学校		若柳小学校	
			江刺愛宕 小学校			
			稲瀬小学校			

各地域本部に地域コーディネーターを配置する。(複数名体制も可能とする)
【市教育委員会で委嘱】

地区振興会・PTAなど、組織による協力体制
地域住民のボランティア活動による協力体制

7本部25校で実施

3 成果報告

- (1) 水沢中学校支援地域本部
- (2) 東水沢中学校支援地域本部
- (3) 水沢南中学校支援地域本部
- (4) 江刺第一中学校支援地域本部
- (5) 学校支援前沢地域本部
- (6) 胆沢中学校支援地域本部
- (7) 衣川中学校支援地域本部



3 成果報告

(1) 水沢中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

第1回：書面提案、第2回：書面議決

イ 地域コーディネーター

氏 名：高橋 育子

活動日数：113日（330時間）

ウ 登録ボランティア数

33人（延べ参加人数 541人）

エ 主な活動内容

【図書ボランティア】

読み聞かせボランティア「音読サークル あいうえおの会」と一般ボランティアによる読み聞かせ、学校支援ボランティアのメンバーにより構成された「ままだ〜る」によるペープサートの上演、本の修理、校内装飾を行いました。今年度で12作目となるペープサートは「ピノキオ」を上演しました。学区内の小学校だけではなく、学区外の小学校からも上演依頼があり、工夫を凝らしながら、多くの子どもたちに披露することができました。

【学習支援ボランティア】

今年度は水沢中学校、水沢小学校、佐倉河小学校の3校で家庭科（ミシン、裁縫、調理実習）の授業補助の活動を行いました。多くの地域のボランティアが見守ることで、安全かつスムーズに授業を進めることができたと感じています。概ね例年どおりの活動をすることができ、子どもたちにとっても、地域の方と触れ合うことができる貴重な機会になっています。



●水沢中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・卒業式・入学式装飾撤去 ・支援本部事業説明	1人	1回
第2 四半期 7月～9月	・家庭科ミシン補助 ・読み聞かせ	42人	20回
第3 四半期 10月～12月	・読み聞かせ	19人	3回
第4 四半期 1月～3月	・調理実習補助	16人	4回

●水沢小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	ブックカバー、校内装飾作成、ペープサート台本・絵、読み聞かせ	89人	19回
第2 四半期 7月～9月	ブックカバー、校内装飾作成、ペープサート・紙芝居作成、家庭科補助	79人	19回
第3 四半期 10月～12月	ブックカバー、校内装飾、ペープサート練習、ミシン補助、読み聞かせ	116人	30回
第4 四半期 1月～3月	ブックカバー、ペープサート話し合い、卒業校内装飾	50人	15回

●佐倉河小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	読み聞かせ、校内装飾作成、ミシン打合せ・授業準備・補助	41人	10回
第2 四半期 7月～9月	読み聞かせ、ステージ幕修理	9人	3回
第3 四半期 10月～12月	読み聞かせ、ミシン補助・調整、ペープサート、文化発表会手伝い、図書祭り	39人	10回
第4 四半期 1月～3月	読み聞かせ、卒業校内装飾	10人	5回

(2) 東水沢中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：田村 恵美子

活動日数：102日（209時間）

ウ 登録ボランティア数

26人（延べ参加人数 567人）

エ 主な活動内容

【 読み聞かせボランティア 】

羽田小学校では、毎週金曜日に読み聞かせのボランティアをおこなっています。子どもたちに合った選書、季節に合った選書をし、読書体験が楽しくなるような読み聞かせを続けています。また、常盤小学校では、学年の希望によって読み聞かせをしています。図書まつりは昨年度につづいて参加しました。読み聞かせボランティアと音読グループ「あいうえおの会」の皆さんの協力で、地元につながる民話の「大工と鬼六」の紙芝居を読みました。

【 学習支援・家庭科補助ボランティア 】

東水沢中学校の家庭科支援で裁縫と調理実習補助のボランティアを行いました。アイロンやミシンの使い方、手縫いの縫い方など、生徒一人ひとりの進み具合に合わせて、きめ細かな支援を行うことができました。調理実習補助は、今年度も怪我をすることもなく、必要なサポートを生徒たちにできました。家庭科の実習は進み具合に差が出やすく、担任の先生だけではクラス全員の面倒を見るのは大変なため、生徒に対しても、とても有意義なボランティア支援を行うことができました。

【 1年生支援ボランティア 】

常盤小学校で1年生の下校指導、下校見守り支援ボランティアを初めて行いました。通学路が違って、お迎えの保護者の方と出会えない児童がいましたが、ボランティアさんのおかげで、無事に保護者の方に引き渡しが出来ました。



●東水沢中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月			
第2 四半期 7月～9月	・1年家庭科実習補助	30人	8回
第3 四半期 10月～12月	・1年家庭科実習補助	59人	16回
第4 四半期 1月～3月	・1年家庭科実習補助	82人	18回

●常盤小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・事業打ち合わせ ・1年下校指導見守り ・1年下校見守り ・1年交通安全教室支援 ・校外活動支援 ・読み聞かせ	89人	19回
第2 四半期 7月～9月	・図書館蔵書補修 ・校外活動支援 ・読み聞かせ	32人	7回
第3 四半期 10月～12月	・学習支援 ・校外学習支援 ・図書まつり打ち合わせ ・図書まつり ・読み聞かせ ・図書館蔵書補修	37人	8回
第4 四半期 1月～3月			

●羽田小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・読み聞かせ	69人	11回
第2 四半期 7月～9月	・読み聞かせ ・5年家庭科補助	53人 2人	8回 1回
第3 四半期 10月～12月	・読み聞かせ ・マラソン大会試走見守り ・1年リース作り補助 ・図書祭りペーパーアート	74人 4人 3人 1人	11回 1回 1回 1回
第4 四半期 1月～3月	・読み聞かせ	48人	7回

(3) 水沢南中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：菅原 真澄

活動日数：167日（319時間）

ウ 登録ボランティア数

57人（延べ参加人数 438人）

エ 主な活動内容

【 学習支援・付き添いボランティア 】

校内活動では家庭科・習字・図工の支援を行いました。また、教室の中での子供たちの「見守り」も行いました。

校外学習ではまち探検やお仕事探検、また、施設見学や体験などにも同行しました。子供たちと接しながら、ボランティアさん同士の交流も図りながら楽しく活動できたと思います。

【 図書ボランティア 】

登録ボランティアによる読み聞かせは「しかけ絵本」「大型絵本」「紙芝居」「昔語り」「詩の朗読」等さまざまで、子どもたちにとってもボランティアさんにとっても良い15分間を過ごしています。

また、「ままど〜る」の協力によるペープサートを図書まつりに上演しています。

今年度も装飾づくり、装飾貼替、本のクリーニング、しおりづくりや台本板の名前張りも行いました。子どもたちから声をかけられたりすると張り合いにつながります。

【 ボランティアへのインタビュー 】

登録ボランティアは減ったり増えたりしていますが、長く続けてくれればいいなあと思っています。

●水沢南中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	活動なし		
第2 四半期 7月～9月	活動なし		
第3 四半期 10月～12月	活動なし		
第4 四半期 1月～3月	活動なし		

●水沢南小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	神楽衣装補修	3人	1回
	習字・家庭科支援	47人	11回
	図書カバー・装飾	10人	2回
	読み聞かせ	11人	4回
第2 四半期 7月～9月	図書カバーづくり・装飾	27人	7回
	図工補助（のこぎり）	29人	6回
	読み聞かせ	18人	6回
第3 四半期 10月～12月	家庭科支援（ミシン）	41人	11回
	装飾	9人	2回
	読み聞かせ	12人	3回
第4 四半期 1月～3月	装飾 次年度計画	10人（予定含）	2回

●真城小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	自転車教室＝中止	0人	0回
	町・お仕事探検・社会科見学(ダム)	5人	3回
	習字支援	17人	6回
	家庭科支援	4人	1回
	図書ボランティア	13人	2回
	見守り	30人	19回
第2 四半期 7月～9月	図書ボランティア	12人	3回
	社会科見学(ごみ処理場)	1人	1回
	見守り	12人	9回
第3 四半期 10月～12月	家庭科支援（ミシン）	7人	2回
	図書ボランティア	9人	2回
	社会科見学(図書館)(ノームの森)	2人	2回
	CRT検査見守り	10人	2回
	見守り	9人	回

第4四半期 1月～3月	図書ボランティア 見守り 次年度計画	4人(予定) 3人+ α 人?	1回 現時点(2 /18)
----------------	--------------------------	---------------------------	---------------------

●姉体小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1四半期 4月～6月	下校見守り・交通安全教室	11人	4回
	図書装飾	6人	1回
	学区探検見守り・スーパー見学	14人	5回
	家庭科・習字支援	13人	3回
	読み聞かせ	4人	4回
第2四半期 7月～9月	読み聞かせ	5人	5回
第3四半期 10月～12月	家庭科支援	14人	4回
	持久走大会	3人	1回
	読み聞かせ・読書まつり	9人	2回
	図書装飾	0人	0回
第4四半期 1月～3月	予定なし 次年度計画	0人	0回



(4) 江刺第一中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：菊地 喜久子
活動日数：201日（1015時間）

ウ 登録ボランティア数

45人（延べ参加人数 852人）

エ 主な活動内容

【 季節の壁面装飾作成、掲示 】

定期活動としてすでに定着しており、毎月自主的にテーマを決めて作成掲示を行っています。毎年同じ内容を繰り返さないよう、3年を1クールとして作品を入れ替えています。

作品内容のグレードアップにも常に取り組んでおり、種々作品例を参考にしながらの試行錯誤は私たちの意欲をかきたたせてくれます。またメンバー同士の楽しい情報交換の場としても役立っています。

【 図書の読み聞かせ、環境整備 】

読み聞かせについてもすでに定着しており、学校ごとにリーダーをお願いしてスムーズな活動ができています。各学校の子どもたちが楽しみに待っていてくれるので、読み手の皆さんも子どもたちの反応に手ごたえを感じ、より一層気合を入れて頑張っています。

市の読み聞かせ研修会にも積極的に参加して各自腕を磨いていただき、楽しみながら進めています。

【 学習、校外活動支援 】

各校ともコミュニティスクールを推進していく体制が整い、その実践により地域とのつながりも深まったと感じています。国の「地域学校協働活動とコミュニティスクールの一体的推進事業」を積極的に活用し、従来は体験できなかった学校行事（郷土芸能、音楽鑑賞など）が地域住民にも公開されるなど、素晴らしいものになっていることに感心しました。

今年度の校外活動は、クマの出没が頻繁にあって中止が相次ぎ、支援もあまりできませんでした。今までこのようなことはなく残念でしたし、今後も不安が残ります。

●江刺第一中学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (4月-春の装い 5, 6月-雨雨降れ降れ) ② 図書ブックコート	27名 27名	9回 9回
第2 四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (7～9月-立体花火と吹流し等) ② 図書ブックコート	24名 24名	6回 6回
第3 四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (10月-ハロウィン 11, 12月-クリスマス ツリー とおうしゅうたろう) ② 図書ブックコート	24名 32名	6回 8回
第4 四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1, 2月-バレンタインと春が来た) ② 青色合格だるま+応援団作成・掲示 ③ 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予定)	24名 16名 6名	6回 4回 3回

●岩谷堂小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動会玉 入れ 6月 -立体紫陽花, 雨雨降れ降れ)	36名 24名	9回 5回
	② 1学年給食指導補助	24名	4回
	③ 1学年下校指導兼見守り	8名	2回
	④ 春の自転車教室・交通安全教室補助	38名	12回
	⑤ 読み聞かせ	28名	1回
	⑥ 田植え支援 (JA 青年部含む)	4名	1回
	⑦ 社会科見学 (スーパーサンエー)	12名	12回
	⑧ 語学指導支援	1名	1回
	⑨ ぎんなん原稿		
第2 四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (7～9月-立体花火と吹流し, 立体ファ ン)	23名 36名	8回 10回
	② 読み聞かせ	9名	3回
	③ ミシン調整	12名	4回
	④ 家庭科ミシン学習支援	6名	2回
	⑤ 習字学習支援	6名	1回
	⑥ 秋の自転車教室補助	3名	3回
	⑦ 語学指導支援		
第3 四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所)	32名	12回

	(10～12月-ハロウィン, おうしゅうたろうサンタ とクリスマスツリー) ② 読み聞かせ	35名	9回
第4四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (2, 3月-立体花) ② 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予定)	18名 4名	6回 4回

●江刺愛宕小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動会玉入れ 6月 -立体紫陽花, 雨雨降れ降れ)	10名	6回
	② 4～6年生見守り	15名	10回
第2四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (7～9月-立体花火と吹流し, 立体ファン) ② 4～6年生見守り	8名 18名	6回 8回
第3四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (10月-ハロウィン 11, 12月-クリスマスツリー, 立体ファン)	8名	7回
	② 読み聞かせ	4名	1回
	③ 習字支援	8名	2回
第4四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1, 2月-春が来た, 立体花) ② 調理実習支援5年生 ③ 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予定)	6名 5名 1名	4回 1回 1回

●稲瀬小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (4箇所) (4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動会玉入れ 6月 -立体紫陽花, 雨々降れ降れ)	10名	6回
	② 読み聞かせ	8名	4回
第2四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (4箇所) (7～9月-立体花火と吹流し)	12名	8回
	② 読み聞かせ	10名	6回
第3四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (4箇所)	10名	6回

	(10月-ハロウィン 11,12月-クリスマスツリー, 立体ファン) ② 読み聞かせ	12名	8回
第4 四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (4箇所) (2月-春が来た, モザイクハートその他 いろいろ) ② 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予定)	8名 1名	5回 1回

●田原小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動会玉 入れ 6月 -立体紫陽花, 雨雨降れ降れ)	10名	8回
第2 四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (7, 8月-立体花火と吹流しその他) ② 読み聞かせ	8名 2名	6回 2回
第3 四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (10月-ハロウィン 11,12月-クリスマス ツリー, 立体ファン) ② 読み聞かせ (こまばタイム) ③ お米販売会支援	6名 2名 2名	6回 1回 1回
第4 四半期 1～3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1, 2月-春が来た, モザイクハート他) ② 卒業・入学式会場特別掲示物作成と掲 示 (予定) ③ 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予 定)	6名 3名 1名	6回 3回 1回

●江刺ひがし小学校

期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4～6月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (4月-入学おめでとう, 桜 5月-運動会玉 入れ 6月 -立体紫陽花, 雨雨降れ降れ)	8名	8回
第2 四半期 7～9月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (7, 8月-立体花火と吹流し) ② 読み聞かせ ③	8名 20名 3名	6回 4回 1回
第3 四半期 10～12月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所)	10名	7回

	(10月-ハロウィン 11, 12月-クリスマスツリー, 立体ファン) ② 読み聞かせ ③ 郷土芸能の集い、ピアノデュオ演奏会鑑賞	20名 5名	4回 2回
第4 四半期 1~3月	① 壁面装飾作り・掲示 (2箇所) (1, 2月-春が来た, モザイクハート他) ② 卒業・入学祝いメッセージ作成 (予定)	8名 1名	6回 1回



(5) 学校支援前沢地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：岩渕 美樹
活動日数：166日（632時間）

ウ 登録ボランティア数

72人（延べ参加人数 978人）

エ 主な活動内容

【 読み聞かせボランティア 】

今年度も、モチモチの会による読み聞かせを、年間を通して行いました。今年度は、モチモチの会として、メンバーで作った募集チラシを配布し、昨年度と同様に新メンバーが3人加わりました。また、地元の図書館とコラボ企画で、おはなし会を行い、活動の幅も広がっています。読書まつりでは、毎年楽しみにしている子どもたちに、笑顔と感動を届けています。

【 学習支援ボランティア 】

前沢小学校では、年間を通しての活動として、稲作体験や3年生の習字見守りを行っています。他にも、遠足や町探検等の校外での見守り、プール掃除やトイレ掃除等、生活面での大切な事を、地域ボランティアの方々と一緒に活動しながら教わっています。ミシン、電動のこぎり、包丁等、危険な物を扱う際には、ボランティアの皆さんに見守っていただくことで安全に活動することが出来ています。

前沢中学校では、技術の木工を始めとして、新たに家庭科のミシンと調理実習の支援も行っています。色々なボランティアと関わることで、視野を広げ心を豊かにする経験にもなっています。生徒たちからの感謝のメッセージを見たボランティアさんからは、達成感やモチベーションが上がったという声が聞かれました。

【 1年生給食準備ボランティア 】

1年生の給食ボランティアは慣れない環境の児童にとって、欠かせない支援の1つとなっています。児童の保護者や、毎年、給食支援に参加して下さるボランティアの皆さんのご協力により、短時間でもスムーズに準備や片付けが出来ています。そのまま下校の支援も行いました。参加した1年生の保護者は、子どもたちの様子を見る事が出来て、安心されていました。

【 全校児童活動支援 】

今年度の校内ウオークラリーも、昨年度の反省や意見を活かし、更に楽しく活動することが出来ました。準備段階から、高学年の児童が相談しながら、楽しんで活動している姿が見られました。当日は、下級生の歩くスピードに気をつける思いやりや、クイズの答えを1人1人に確認する姿も見られ、縦割りの最大の効果を発揮していました。保護者や地域の方々は、クイズを考えたり、クイズやゲームの対応をしたり、多くの児童と直接かかわる機会を楽しんでおり、継続を希望する声が多く寄せられています。

●前沢小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・給食準備	123名	16回
	・3年生習字支援	108名	23回
	・田植え支援	11名	3回
	・モチモチの会	29名	4回
	・2年生遠足	14名	1回
	・体力テスト測定支援	37名	6回
	・丸つけ・授業補助	5回	5回
	・5年生図工支援（糸鋸）	27名	6回
第2 四半期 7月～9月	・3年生習字支援	31名	9回
	・5年生手縫い支援	42名	6回
	・モチモチの会	36名	9回
	・2年生まち探検支援	26名	1回
	・1年生朝顔のリース作り支援	9名	3回
	・トイレ掃除支援	21名	12回
	・全校ウォークラリー	22名	1回
	・丸つけ・授業補助	32名	20回
第3 四半期 10月～12月	・3年生習字支援	56名	18回
	・ミシン点検	2名	1回
	・5・6年ミシン支援	70名	12回
	・モチモチの会	43名	9回
	・学習支援	26名	16回
	・校内ウォークラリー	23名	1回
第4 四半期 1月～3月	・習字支援	8名	2回
	・学習支援	5名	3回
	・掲示物装飾支援	32名	7回
その他	・授業参観支援 ・新入学生説明会補助 ・入学式補助（小学校） ・卒業式補助（小中学校）		

●前沢中学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月			
第2 四半期 7月～9月	・ミシン調整	2名	1回
第3 四半期 10月～12月	・1年生ミシン学習支援	59名	14回
第4 四半期 1月～3月	・3年生調理実習支援	13名	4回
	・1年生木工学習支援	49名	9回



(6) 胆沢中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

第1回：令和7年5月（書面議決）、第2回：開催なし

イ 地域コーディネーター

氏名：高橋 加奈子
活動日数：155日（475時間）

ウ 登録ボランティア数

27人（延べ参加人数 559人）

エ 主な活動内容

【 校内環境整備ボランティア 】

校内装飾掲示、畑や花壇の草取り、観葉植物の水やりの手伝いに取り組みました。草取りでは、児童と一緒にコミュニケーションをとりながら活動しました。観葉植物の水やりでは、世話をしているうちにだんだん植物が元気になり花が咲き嬉しく感じました。

【 図書ボランティア 】

図書のブックコートや修理をはじめとする様々な作業のお手伝いや本立てを行いました。また、読み聞かせは、ボランティアさんからの発案により、中学校での読み聞かせ会の開催に繋がる等、活発な活動となっています。

【 安全見守りボランティア 】

町探検や持久走大会での安全見守りボランティアを行ったほか、胆沢中学校では下校の安全見守りボランティアを行いました。町探検では、地域の方の暖かい受け入れや児童の積極的な質問に感心させられました。

【 学習支援ボランティア 】

今年度は胆沢第一小学校、南都田小学校、若柳小学校で家庭科の授業補助を行い、裁縫やミシン、調理実習の支援を行いました。子どもたちの出来なかったことが出来るようになる時の嬉しそうな笑顔が何よりの励みとなっています。

【 その他 】

チラシやポスターの作成、ボランティア研修会や交流会への参加を通じてボランティアさんも広報活動に参画しています。

●胆沢中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	装飾作成・掲示	4人	2回
	校内整備（観葉植物のお世話）	5人	6回
	図書室支援	14人	11回
	下校安全見守り	16人	11回
	広報活動	3人	2回
第2 四半期 7月～9月	装飾作成・掲示	3人	2回
	校内整備（観葉植物のお世話）	4人	8回
	図書室支援	5人	6回
	読み聞かせ	2人	2回
	広報活動	1人	1回
	ボランティア交流会	8人	1回
	下校安全見守り	4人	8回
第3 四半期 10月～12月	装飾作成・掲示	11人	8回
	校内整備（観葉植物のお世話）	4人	6回
	図書室支援	2人	8回
	読み聞かせ	1人	1回
	下校安全見守り	7人	11回
第4 四半期 1月～3月	装飾作成・掲示	7人	4回
	校内整備（観葉植物のお世話）	5人	3回
	下校安全見守り	2人	4回

●胆沢第一小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	装飾掲示	1人	2回
	習字支援	0人	1回
	家庭科支援	56人	9回
	図書室支援	18人	16回
	読み聞かせ	7人	3回
	広報活動	1人	1回
第2 四半期 7月～9月	装飾掲示	3人	2回
	家庭科支援	18人	8回
	図書室支援	16人	12回
	読み聞かせ	4人	3回
第3 四半期 10月～12月	装飾掲示	1人	3回
	図書室支援	5人	6回
	読み聞かせ	12人	4回
	家庭科支援	21人	9回
	2年生町探検引率補助	5人	1回
	学校公開支援	2人	1回
第4 四半期 1月～3月	図書室支援	4人	4回
	読み聞かせ	3人	1回

●南都田小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	装飾掲示	2人	3回
	図書室支援	13人	8回
	読み聞かせ	5人	5回
	家庭科支援	10人	3回
	2年生町探検引率補助	5人	3回
第2 四半期 7月～9月	装飾掲示	1人	1回
	図書室支援	4人	4回
	読み聞かせ	5人	3回
	家庭科支援	10人	2回
第3 四半期 10月～12月	装飾掲示	1人	2回
	図書室支援	2人	6回
	読み聞かせ	6人	5回
	家庭科支援	29人	10回
第4 四半期 1月～3月	図書室支援	0人	1回
	読み聞かせ	2人	1回

●若柳小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	花壇、畑草取り	3人	2回
	家庭科支援	2人	1回
	装飾掲示	4人	2回
	図書室支援	8人	3回
	読み聞かせ	3人	2回
第2 四半期 7月～9月	装飾掲示	2人	2回
	図書室支援	6人	4回
	読み聞かせ	3人	2回
	広報活動	1人	1回
第3 四半期 10月～12月	装飾掲示	4人	3回
	図書室支援	7人	4回
	読み聞かせ	2人	2回
	持久走大会安全見守り	3人	1回
	家庭科支援	13人	5回
第4 四半期 1月～2/12	図書室支援	9人	3回



(7) 衣川中学校支援地域本部

ア 地域教育協議会

開催なし

イ 地域コーディネーター

氏 名：石川 隆信、横山 剛

活動日数：62日（91時間）

ウ 登録ボランティア数

17人（延べ参加人数 66人）

エ 主な活動内容

【 学習支援ボランティア 】

衣里小学校では、読み聞かせや地域学習の支援を行いました。歴史学習や自然体験では、地元のボランティアの方々のおかげで、子どもたちは地元の良さを再発見することができ、また安全に活動することができました。今年度は3学年と4学年の学習活動が加わり、全学年で実施できました。3学年は地域全体の様子を知るために「衣川歴史ふれあい館」を新たに活動の場に設定し、剣舞の歴史や衣川の地形を展示物で確認しました。

4学年は地区振興会の協力の下、防災教育を選び第一次避難場所や危険箇所及び避難ルートの確認にあたりました。衣里地区センター職員がゲストティチャートなり、避難所設置の手順や備蓄している非常食の紹介をしました。

少しずつ地域の持つ教育力が児童に示せていると実感しています。同時に、これらの活動を学習発表会でまとめて保護者に示していることにも心強さを感じます。

【 稲作学習ボランティア 】

地域の農家や農協、地区振興会、土地改良区の方々の協力により、田植えから稲刈り、精米までの稲作学習を行いました。とりわけ今年の児童は4名で1アールの田植えはとても大変なので、親子での田植えとなりました。ボランティアの方々が熱心に指導してくれたおかげで、昨年よりも多く新米が多く収穫でき、実感と喜びを子どもたちに伝えることができました。またボランティアの方々も、子どもたちへ指導したことが農業への自信につながっていると実感されています。収穫した米は、学習発表会で販売したり、収穫祭で関係した方々に振る舞ったり、地域の高齢者施設に寄付したりしました。

【 職業学習ボランティア 】

地元の卒業生がどのように活躍されているのかを学ぶ学習として、地元出身者を招いての職業学習を行いました。今年度も引き続き、岩手銘醸杜氏、リコパン工房職人、国立水沢天文台技師の方々3名からお話をいただきました。大人として生きていくことや職業についての考え方、目標を持つことの大切さ、これから卒業する児童に対しての贈る言葉など、身近な方々の話を子どもたちは真剣に聞き入っていました。

●衣川中学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・家庭科授業補助	7人	7回
第2 四半期 7月～9月	・家庭科授業補助	3人	3回
第3 四半期 10月～12月			
第4 四半期 1月～3月			

●衣川小学校

時期	活動内容	延べ参加人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	・水生生物調査	2人	1回
	・スクールガード紹介式	7人	1回
	・田植え（事前学習含）	10人	2回
	・ふるさと遠足	8人	2回
	・地域探検	7人	4回
第2 四半期 7月～9月	・七夕飾り	5人	1回
	・「お宝たんてい団」（調査活動）	23人	25回
	・稲刈り	10人	1回
第3 四半期 10月～12月	・世界遺産学習	2人	1回
	・地域探検	3人	3回
	・防災学習	3人	1回
	・ふるさと発表（学習発表会）	4人	1回
第4 四半期 1月～3月	・みずきならし	10人	1回
	・ふるさと発表（授業参観）	3人	1回

時期	主な活動内容	延べ参加人数	実施回数
年間	読み聞かせ	15人	4回
年間	登下校見守り あるゴーの日	70人	47回
年間	子どもみ神楽伝承活動	25人	10回
夏	ホテル観察会	10人	2回

●衣里小学校

時期	活動内容	参加延べ人数	実施回数
第1 四半期 4月～6月	学校農園の起耕作業及び畝立て	1人	1回
	5学年育苗ハウス見学及び第1回稲作のプレゼンテーション	2人	1回
	5学年田植え体験とバケツ稲体験	3人	1回
	5学年木工工作ペン立て作り	1人	1回
第2 四半期 7月～9月	5学年稲作学習・北大堰取水口見学と第2回プレゼンテーション稲作学習	3人	1回
	5学年稲作学習・カントリーエレベーター見学と実習田の稲株生育調査	2人	1回
	4学年防災教育・避難所の運営について学習	4人	1回
	1学年動物とのふれあい（ポニー、山羊）	4人	1回
	3学年郷土を知る学習「歴史ふれあい館」見学	2人	1回
	1・2学年秋を探す野外活動	1人	1回
	3学年川西橋とその環境を知る活動	1人	1回
	5学年稲作学習、稲刈りと棒がけ体験	5人	1回
第3 四半期 10月～12月	5学年稲作・脱穀体験活動	3人	1回
	6学年キャリア教区、岩手銘醸杜氏三浦建太郎氏の講話	2人	1回
	3学年総合的学習「名人を探せ」イノシシ捕獲名人から学ぶ	3人	1回
	1・2学年、学校裏「ニコニコ農園」で焼き芋体験活動	2人	1回
	6学年衣里地区センターでリコパン職員西川さんよりパン作りを学ぶ	1人	1回
	5学年稲作・収穫祭実施と稲作のまとめプレゼンテーションで学ぶ、新米贈呈式（羽衣荘への新米贈呈）	6人	1回
	6学年キャリア教育 国立天文台水沢・技師・上野祐治氏から学ぶ	1人	1回
	3学年総合的学習「名人を探せ」門松作り名人から学ぶ体験活動	4人	1回
第4 四半期 1月～3月	活動のまとめと報告書作成	1人	1回
	堆肥購入と運搬作業	1人	1回
年間	・読み聞かせ	5人	5回
	・見守り	8人	2学期からはクマの出没で見守りは無し
	・家庭科補助（ミシン）	今年は小学校職員で実施	



4 研修活動、広報活動報告



4 研修活動、広報活動報告

(1) 研修活動

ア 県主催の研修会への参加

- (ア) 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）等研修会
日 時：5月30日（金） 会場：県立生涯学習推進センター（花巻）
参加者：地域コーディネーター2名、市担当者1名
内 容：講演・演習「人のつながりのつくりかた
～学校を核として地域づくりの本質とは～」
講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会
代表理事 廣瀬 隆人 氏
- (イ) 県南教育事務所管内「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム
日 時：7月9日（水） 会場：前沢ふれあいセンター
参加者：地域コーディネーター2名
内 容：講義・ワークショップ「学校運営協議会&地域学校協働活動
～ひらめき、動いてみよう！～」
講師：紫波町教育委員会事務局
社会教育指導員兼CSコーディネーター 佐々木 勉 氏
- (ウ) 学校と地域の連携・協働研修会
日 時：8月21日（木） 会場：県立生涯学習推進センター（花巻市）
参加者：地域コーディネーター4名、市担当者1名
内 容：基調講演「地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的な推進に必要なこと」
講師：文部科学省 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部
統括研究官 志々田 まなみ 氏
情報交換・熟議体験
ファシリテーター：岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課
主任指導主事 阿部 勲寿 氏
講評
文部科学省 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部
統括研究官 志々田 まなみ 氏
- (エ) 県南教育事務所管内「地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座」
日 時：11月19日（水） 会場：平泉町学習交流施設エピカ
参加者：地域コーディネーター1名、市担当者1名
内 容：講演・演習「地域学校協働活動でわくわく地域づくり
～教育振興運動をベースとしたコミュニティ・スクールとの一体的な推進～」
講師：文部科学省総合教育政策局CSマイスター（福島・石川・長野担当）
鎌倉市参与・鎌倉女子大学非常勤講師
能登復興教育アドバイザー
金沢大学先端科学社会共創推進機構客員研究員 猿渡 智衛 氏

イ 市主催の地域コーディネーター等情報交換会の開催

(ア) 第1回地域コーディネーターとの情報交換会

日付：8月26日(月)

場所：水沢地区センター

参加者：地域コーディネーター8名

内容：ボランティア研修会について、情報交換(フリートーク)

(イ) 第2回地域コーディネーターとの情報交換会

日付：2月10日(火)

場所：水沢地区センター

参加者：地域コーディネーター7名

内容：活動時間・消耗品費の状況確認、今後の予定について、情報交換(フリートーク)

ウ 市主催の学校支援ボランティア研修会の開催

令和7年度は開催なし。

(2) 広報活動

ア ホームページ、広報誌等への記事掲載

- ・市ホームページにて事業周知およびボランティア募集

イ 地区振興会等への周知

- ・振興会だより等へのボランティア募集記事掲載のお願い

ウ ポスター、チラシ、学校支援だよりの作成

(ア) 水沢中学校支援地域本部

- ・事業周知・ボランティア募集のチラシを作成
- ・地区センターにチラシ、ポスターを設置
- ・本部内小中学校の保護者に募集チラシを配布

(イ) 東水沢中学校支援地域本部

- ・事業周知・ボランティア募集のチラシを作成
- ・本部内小中学校の保護者に募集チラシを配布

(ウ) 水沢南中学校支援地域本部

- ・ボランティア募集ポスター掲示(各校・各地区センター)
- ・学校を通して児童の家庭にチラシを配布

(エ) 江刺第一中学校支援地域本部

- ・岩谷堂小学校広報誌「ぎんなん」にて事業周知・ボランティア募集
- ・保険付きボランティア募集チラシを各校へ配布

(オ) 学校支援前沢地域本部

- ・事業周知・ボランティア募集のチラシを作成、配布
- ・学校広報へのボランティア募集記事の掲載

(カ) 胆沢中学校支援地域本部

- ・ 地区センターへの事業周知、ボランティア募集の協力依頼
- ・ 事業周知・ボランティア募集のチラシ、ポスターを作成
- ・ 地区センター、各小学校にチラシやポスターを設置

(キ) 衣川中学校支援地域本部

- ・ 学校広報誌での事業周知
- ・ 学区内保護者にチラシを配布
- ・ 地区振興会広報誌に事業内容掲載

5 資料

- 学校支援地域本部事業に関する調査

- 【対象：学校支援ボランティア】集計結果

- 【対象：事業実施校（教員）】集計結果

- 【対象：事業実施校（児童・生徒）】集計結果

- 奥州市学校支援地域本部実行委員会名簿

令和7年度

学校支援地域本部事業に関するアンケート

【対象：学校支援ボランティア】

集計結果

調査期間：令和8年1月21日(水)から2月20(金)まで
調査対象者：学校支援ボランティア 223名
アンケート提出者：165名(回収率 73.9%)

問1 どちらの学校で活動をしていますか？【複数回答可】

・水沢中学校支援地域本部

学校名	水沢中	水沢小	佐倉河小	計
人数	11	12	13	36

・東水沢中学校支援地域本部

学校名	東水沢中	常盤小	羽田小	計
人数	10	18	14	42

・水沢南中学校支援地域本部

学校名	水沢南中	水沢南小	真城小	姉体小	計
人数	1	17	14	19	51

・江刺第一中学校支援地域本部

学校名	江刺一中	岩谷堂小	江刺愛宕小	田原小	稲瀬小	江刺ひがし小	計
人数	7	14	5	3	1	13	43

・学校支援前沢地域本部

学校名	前沢小	前沢中	計
人数	49	9	58

・胆沢中学校支援地域本部

学校名	胆沢中	胆沢一小	南都田小	若柳小	計
人数	6	7	6	6	25

・衣川中学校支援地域本部

学校名	衣川中	衣川小	衣里小	計
人数	2	1	1	4

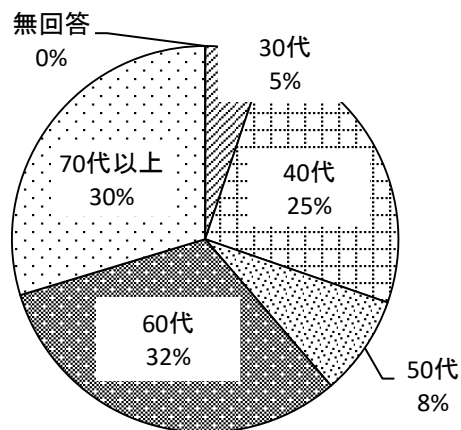
・無回答 0

問2 年齢,について該当する番号に○をしてください。

【年齢】

項目	人数	構成比
1 10代以下	0	0.0%
2 20代	0	0.0%
3 30代	8	5.2%
4 40代	39	25.2%
5 50代	13	8.4%
6 60代	49	31.6%
7 70代以上	46	29.7%
無回答	0	0.0%
計	155	100.0%

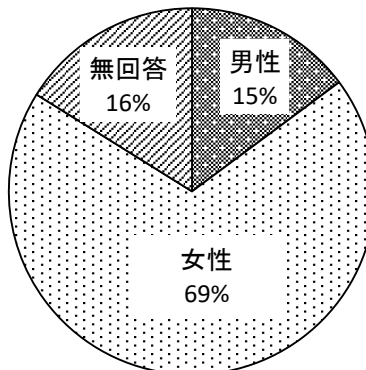
年代別構成比



【性別】

項目	人数	構成比
1 男性	23	14.8%
2 女性	107	69.0%
3 その他	0	0.0%
4 回答しない	0	0.0%
無回答	25	16.1%
計	155	100.0%

性別構成比

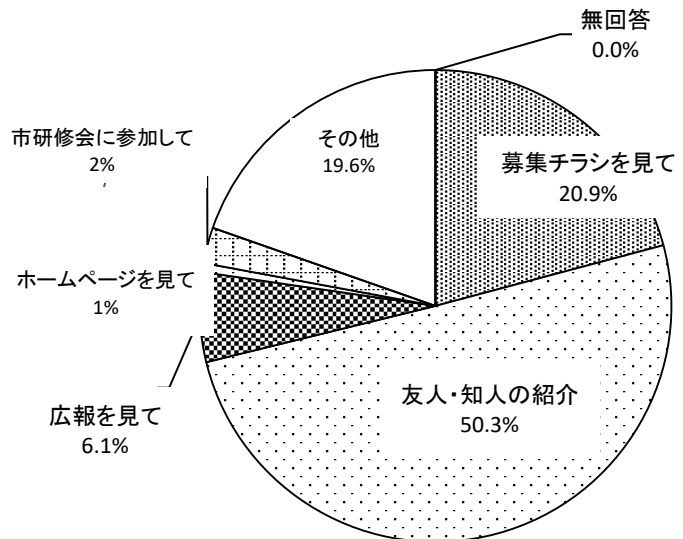


問3 どのようなきっかけで活動に参加されましたか？（複数回答可）

	回答	回答数	割合
1	募集チラシを見て	34	20.9%
2	友人・知人の紹介	82	50.3%
3	広報を見て	10	6.1%
4	ホームページを見て	1	0.6%
5	市研修会に参加して	4	2.5%
6	その他	32	19.6%
	無回答	0	0.0%
	計	163	100.0%

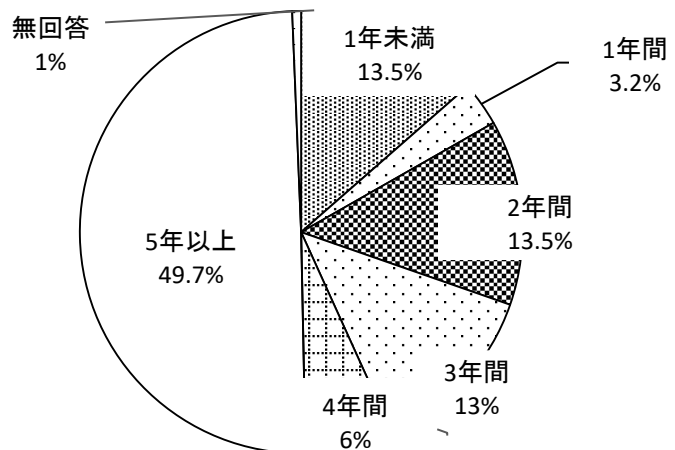
【その他の内容】

- 校報
- 学校現場にいたころ、地域社会の方々にたくさんお世話いただいたから。
- けやきの会の活動から
- 18年前、梁川小にて協力してから
- 子どもが在籍している
- 学校のコーディネーターから
- 校内の募集、子どもが小学生だったから
- 稲刈りボランティアに参加したから
- スクールガード
- 地域コーディネーターからの声掛け
- 学校独自のボランティアの流れで
- 子どもの担任の先生からの依頼
- 学校の案内
- 地区センターでボランティアをしていたため
- 個人でボランティアをしていたため
- 長年の日課
- 学校からの案内
- 孫の送迎を兼ねてするようになった
- 元校長からの声掛け
- 子どもが岩小に通っているので
- 前沢小に昨年3月まで勤務していたことで状況がわかっていて、4月からの仕事は時間に余裕があったのでボランティアに参加した
- 以前から参加していたため
- 学校からの募集案内
- 小学校の交通安全教室の見守りに参加した際に声をかけられました。
- 学校から依頼されて
- 音読サークルを通して
- 校長先生から電話をいただきました
- 学校からのお便り、ボランティアの説明会



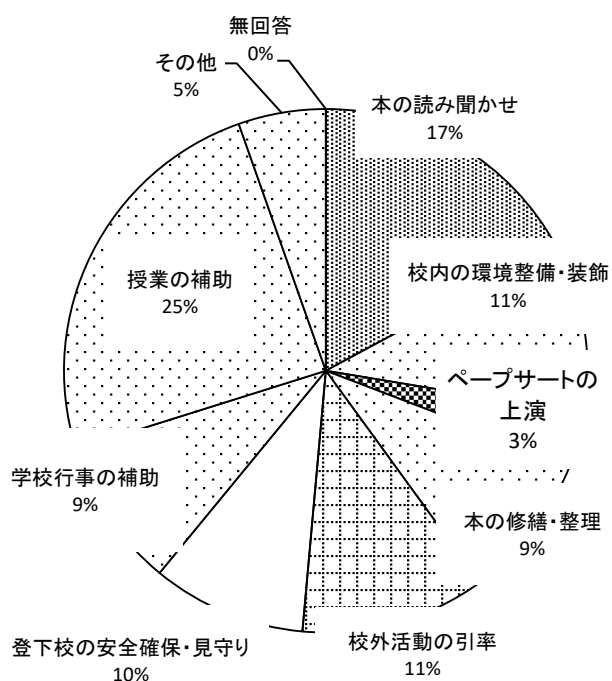
問4 どのくらいの期間ボランティアとして活動していますか？

	回答	回答数	割合
1	1年未満	21	13.5%
2	1年間	5	3.2%
3	2年間	21	13.5%
4	3年間	20	12.9%
5	4年間	10	6.5%
6	5年以上	77	49.7%
	無回答	1	0.6%
	計	155	100.0%



問5 今年度、どのような活動に参加されましたか？(複数回答可)

	回答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ	54	17.1%
2	校内の環境整備・装飾	33	10.5%
3	ペープサートの上演	10	3.2%
4	本の修繕・整理	29	9.2%
5	校外活動の引率	36	11.4%
6	登下校の安全確保・見守り	30	9.5%
7	学校行事の補助	29	9.2%
8	授業の補助	77	24.4%
9	その他	17	5.4%
	無回答	0	0.0%
	計	315	100.0%



【授業の補助の内容】

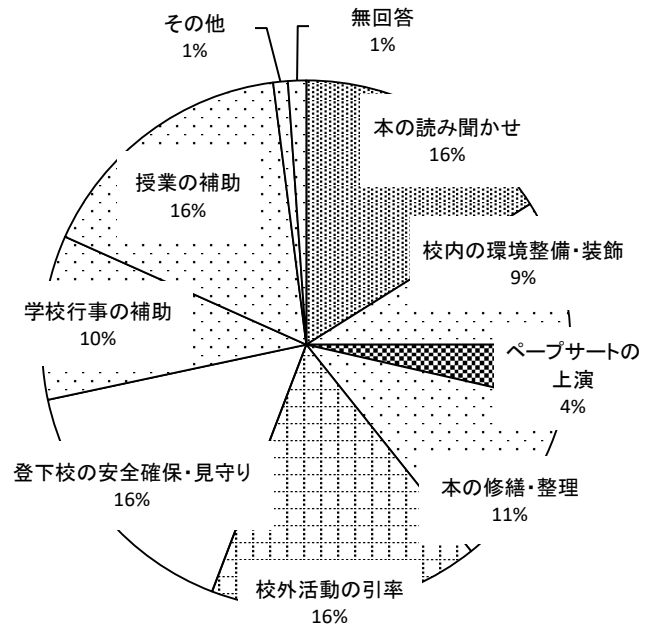
- ・ 家庭科(ミシン、調理実習等) 45
- ・ 習字学習 22
- ・ 木工工作の補助 6
- ・ 丸つけ 5
- ・ 校内マラソン
- ・ 困っている子の支援
- ・ 1, 2年生の授業サポート
- ・ ミシンの調整
- ・ 糸ノコ製作の補助
- ・ 体力測定の前測 2
- ・ リース作り 5
- ・ ミシンのメンテナンス
- ・ 児童支援
- ・ 図工
- ・ 生活科
- ・ 特別支援学級の見守り 2
- ・ 見守り・声かけ

【その他の内容】

- ・ 見学、激励等
- ・ 給食の補助 9
- ・ 校内の見守り
- ・ 交通安全教室、校内マラソン大会
- ・ 読書カードの集計
- ・ 丸つけ 3
- ・ スポーツテスト測定
- ・ 田植え、稲刈り

問6 活動を通して、子どもたちにとって必要な活動は何だと感じましたか？（複数回答可）

	回答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ	72	16.1%
2	校内の環境整備・装飾	40	8.9%
3	ペープサートの上演	16	3.6%
4	本の修繕・整理	48	10.7%
5	校外活動の引率	74	16.5%
6	登下校の安全確保・見守り	71	15.8%
7	学校行事の補助	45	10.0%
8	授業の補助	73	16.3%
9	その他	4	0.9%
	無回答	5	1.1%
	計	448	100.0%



【授業の補助の内容】

- ・ 家庭科(ミシン、調理実習等) 24
- ・ 習字学習 6
- ・ 図工
- ・ 木工工作の補助 4
- ・ 稲作体験
- ・ 体力測定
- ・ 児童支援
- ・ 先生の補助
- ・ 低学年の授業サポート
- ・ 見守り
- ・ たくさんの目や手があったほうが良いと思われる活動
- ・ 分からない生徒への対応
- ・ 先生だけでは手が回らないこと 2
- ・ 道徳の教えやしつけの補完

【その他の内容】

- ・ 給食ボランティア 3
- ・ 地域の人たちに助けられながら成長していくこと
- ・ 食育に関すること

問7 活動を通して感じたことについて、最も近いもの1つに○をつけてください。

	回答	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答	計
1	学校についての理解が深まった。	52	86	8	0	7	153
2	学校に協力しようとする意識が高まった。	67	74	3	1	8	153
3	地域と学校がつながる必要性を感じた。	79	62	6	0	6	153
4	子どもたちや教員にとって必要な活動だと感じた。	77	66	3	1	6	153

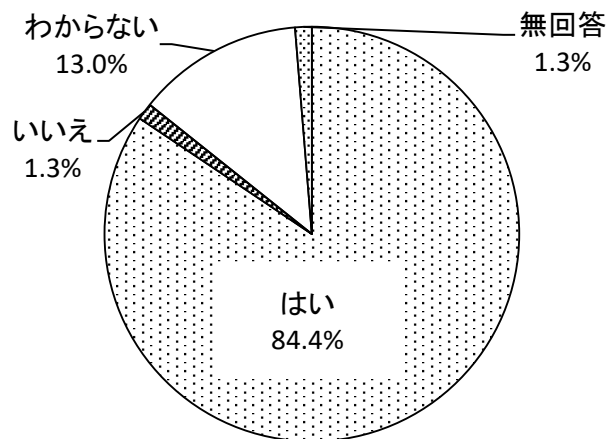
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■よく当てはまる ▨だいたい当てはまる □あまり当てはまらない ▩当てはまらない ■無回答

問8 今後も学校支援ボランティアを続けていきたいと思いませんか？

	回答	回答数	構成比
1	はい	130	84.4%
2	いいえ	2	1.3%
3	わからない	20	13.0%
	無回答	2	1.3%
	計	154	100.0%



問9 学校支援活動で印象に残る出来事がありましたらご記入ください。また、日頃感じることやご意見などがあればご記入ください。(自由記載)

(年代、 活動歴)

- 教育行政や学校側の重点施策を重んじつつも地域住民との関わりは避けては通れないと思う。それ故、若手の方々に役目を担っていただきたいと思う。 (70代以上、5年以上)
- 校内に入っただけで雰囲気わかります。 (60代、3年間)
子どもたちの現状に合わせたマンパワーの必要性を感じます。
「学校が好きで通いたい、学びたい子」を支援することもより重要で、負に流されない子を守ってあげたいと強く思います。
先生方を守り安心して働ける職場であってほしいと願います。先生が先生として意欲を失くさず働けることが子どもたちの幸せにつながると思います。
- 家の近くに同じ年頃の子どもがいないため、小学校に行くために別の登校班がいるところまで毎日、車で送っている。(家から学校まで歩くと30分以上かかるので) (30代、1年未満)
帰りは授業の終わる時間が別々なので、毎日学校まで迎えに行っている。(家に帰る道に歩道がない&信号のない横断歩道なので1人で帰ってくるのが難しい。まだ小1)せめて、横断歩道のところでボランティアで見守りの方がいてくれたら。今後帰ってくるときに助かるなと思います。
- 毎回欠席児童が数人いる(多い時は4~5人)。どのクラスも多くいると感じている。不登校が増えている? (70代以上、1年未満)
学校が楽しくないのかも…遊び時間になると外に出ていく、ほぼ全員…何が原因なのか…
落ち着きのない児童が多い
- 学年によっては一クラスというところがあり、学童数の減少があるのかなあと感じました。ゆとりのある人数、授業で一人一人目をかけやすいのだとも感じました。 (60代、5年以上)
作業が早く終えた子どもがグループ内の遅れている子に声をかけたり一緒に協力し合っている姿を見てほっこりします。
明るく、一人一人声をかけて挨拶してくれるのは気持ちがいいです。
- 高齢なので続けることがいいのかどうか相談してきめたい。 (70代以上、5年以上)
- 初めてボランティアをした時、6年生の生徒さんから「先生、教えてください」と声をかけられとても嬉しかったです。相手に上手く伝えるように勉強したいと思いました。 (40代、1年未満)
- 学童などに入る子どもたちが増えているため、登下校の挨拶をする子どもたちと接することが少ないと思います。 (60代、5年以上)
いろいろな行事も少なくなり、(餅つき会など地区の人たちが集まる機会など)地域としての学校が薄れていると思います。
子どもたちにはいろいろな体験をさせることによってこれからの成長を見守りたいと思っています。
- 子どもが少なくなり、学校と地域の設定が少なくなったと感じている。コロナ、インフルエンザなど一堂に会する機会が少なくなった現在、子ども間のコミュニケーションについて不足しないように確保してもらいたい。 (70代以上、5年以上)
- 老人になったので、もう読み聞かせは無理かと思いましたが、教室に入って児童生徒の顔をみていると、やはり続けたいなと思いました。 (70代以上、5年以上)
- ボランティアの必要性やふるまいについて、参加する前に周知する必要があると感じている。教育者(教師等)ではなく、あくまでもボランティアであるという再認識が必要なのかな?と感じる方がいらっしまったし、学校側もボランティアに何を求めているのか明確に示すべきと思いました。急にプリントの丸つけをお願いされ、これはボランティアがやっているのか?と心配になりました。 (40代、3年間)

- 支援の手が多くあることで、児童の学びや活動がスムーズになり、意欲的に行動する姿が見られた。
教師以外の大人から児童が支援を受ける体験から、あまりよく知らない大人の人であっても、素直に話をきいたり、助けを求めようとする姿が児童から見えたこと。授業での指導の中で、学級担任一名だけで行うより支援員の協力があるほうが、担任教師も安心できるように感じた。 (60代、3年間)
- 調理や習字の授業補助は複数の支援ボランティアで担当したことで、児童を分担して担当でき、児童の様子を把握しながら声かけができた。「明日の習字の授業にも来る？」と言われた時は嬉しかったです。
先生方の一生懸命な授業の一助となり、児童も地元のおばちゃん、おばあちゃんの声掛けでほっとしてくれるとありがたいです。 (70代以上、5年以上)
- 今年度は学校が荒れていると思った。
活動中にろうかをうろうろしている子や、発表中に立ち歩く子もいて先生たちもピリピリしていて活動(練習等)に鍵が必要だったり落ち着かない思いをした。
教室に読み聞かせに行くと、反応のあるクラス、ないクラスがはっきりしていた。一緒に聞いてくれる先生、机で作業する先生、いなくなる先生、クラスのカラーがよく現れていたと思う。
一緒に聞いて笑ってくれる先生のクラスは居心地がよく、子どもたちの反応もよい。他の先生のところは冷めている子どもも多く、本を読み終わっても先生が作業を続け、その後どうしたらよいのか戸惑ったこともあった。 (40代、5年以上)
- ボランティアは学校、地域等に必要だと活動をして思う。 (70代以上、5年以上)
- 中学生は表情や態度ではあらわれにくく、どう感じたかなといつも思うのですが、担任の先生が廊下に出てきて、一言話される言葉が嬉しい時があります。私にとってはその先生方も我が子より若い方なのです。
読み聞かせが生徒の皆さんや、先生のちよっとホッとするひとときだったり、何かを感じ取るようになってくれているらとても嬉しく思います。
奥州市のこの活動は長く続いていることにとっても嬉しく思っているのです。これからもずっと続けていっていただければと願います。 (70代以上、5年以上)
- 学校に職員が不足していると感じる。行政から配置された職員も学校事情で別の子の対応をせざるを得ない現実がある。 (60代、5年以上)
- 現在行われている学校支援活動は必要なものばかりと感じております。
毎年上演のペープサートは子どもたちの反応が良くてやりがいがあります。
家庭科の授業補助に入ることがありますが、生徒の中には集中して先生のお話を聞かない、騒いでしまう子も見受けられました。
先生の日頃のご苦勞を目の当たりにして、外部の大人が必要に応じて授業に入ることも方法の一つかなと思うこともあります。 (40代、3年間)
- 私は70歳半ばの女性です。学校に行くことには少し引け目を感じておりますが、お役に立てたらと続けております。
そんなお役って何だろうと改めて考えた時、統合の続く中で地域のこんなおばあちゃんが本読んでくれたっけと家族、先生とまた少し変わったふれあいの機会になって、何かのいつかのお役に立てていれば嬉しいことだなあと考えております。 (70代以上、5年以上)
- 時代が変わったんですね。子どもたちが外で遊ぶ姿も見れないし、スクールバスでの通学のため、なかなかお話ができませぬ。子どもたちとお話する機会があればいいですね。 (70代以上、5年以上)
- 家庭科の補助で行ったとき、何人が集まって私語に夢中になりすぐ授業に取り掛かれない子たちがいる。先生だけで同時に進めるのは大変だなあ、ボランティアで手伝えるうち手伝いたいと思いました。少しでも何か役に立てることがあればこれからも続けたい。
また一生懸命取り組んでいる子たちの姿を見られるのも嬉しい。我が家には学校に通う子がいないので、子どもさんたちの日々の成長の一部を見て自分も元気になれる。ありがとうございます。 (70代以上、5年以上)

- お祭りでお世話をした子どもたちが学校に行くと元気に挨拶してくれて嬉しいです。街の中では保護者の方々に学校ボランティアに行ってお手伝いしたことにお礼を言われ、子どもたちがおうちの方に学校での出来事をお話しているのだと思いました。家族の会話があるのは素敵です。先生方の頑張りも見えて応援したくなります。今年もありがとうございました。(60代、5年以上)
- 支援活動とは別ですが、この数年、中学生の登下校の姿があまり良いとは言えないことを見かけます。(バス停で大声で、追いかけてこや雪投げや罵倒するような言葉をかけられたり)(50代、5年以上)
- 読み聞かせの短い時間ですが、子どもたちの様子を見ることができ、学童保育の仕事の参考になっています。(50代、5年以上)
- 今年のボランティアは2日間だけでしたが、ボランティアの方々の子どもたちの授業のサポートにとっても必要だなと感じました。昨年度は稲刈りのボランティアで稲を束ねたり、ほんによに稲を立てかける作業をしましたが、農業をしていないですがお手伝い程度はできたのでやりがいがありました。また、6年間登校班の見守り(集合場所まで)しています。毎日見守る時間には娘と一緒にいくのでちょっと忙しいですが、低学年の子たちと一緒に集合場所まで行きます。見守ることで安心を確認できるので他の親御さんも安心して見守ることは限られますが、できるときにお手伝いできればと思っています。(50代、2年間)
- 子どもたちが好きな気持ち、また、ある程度の知識がないとできないなと思います。それから、時間も、モチベーションも高めて…(60代、2年間)
- 学校で活動することで、子どもたちの日常の学校生活の様子がよくわかります。今、学校内が落ち着かず授業中にも罵声や怒号が教室や廊下から聞こえることに恐怖すら感じることもありました。このような環境で1日中過ごさなければならない子どもたちのことを考えると今後、不安しかありません。(40代、5年以上)
- これから読み聞かせのスタッフも若い人へのバトンタッチの時と思うこの頃です。(70代以上、5年以上)
- 家庭科に関して。先生方の中には初めての方もおります。子どもたちにとっても初めての作業ですので事前に学習内容(手順など)を確認して指導してほしいです。自分勝手に作業して、後でやり直しとなると時間もかかりますし、なんといっても本人が一番がっかりします。余り布で小さな小物入れを作り、プレゼントしていただきました。突然のことだったのでとても嬉しかったです。(60代、5年以上)
- 色々難しいことは考えずに先生のお役に立てたならいいかな、という考えだけのボランティアを心がけてます。(70代以上、3年間)
- 小学校での生活は一番大事と思っており、楽しく過ごしてほしいと思っています。特に1年～3年の間に「1. あいさつ 2. 生活習慣 3. 楽しい学び」の思い出を作りたいくさん学んでほしいです。(70代以上、5年以上)
- スクールガードとして子どもたちと一緒に学校まで歩いています。交通指導員の方々や地域の防犯委員の皆様が交差点等で見守りをしています。地域の特性なのでしょう。同様に学校の先生方も(特に校長)毎日のように交差点から学校まで歩いていただき、感謝しております。(70代以上、5年以上)
- まち探検に参加しているが、現在の学級人数(30人前後)を先生1～2名での実施は、いろいろなりリスクが考えられる。そういった視点から地域コーディネーターの取り組みが重要且つ大変な任務と感じた。地域では子どもたちの登下校見守りや子ども会活動に積極的に取り組んでいる。最近感じることは、①PTA活動が見えない、②地域子育て連、町内会活動に対する保護者の理解や積極姿勢が希薄しているようにおもわれる。(70代以上、3年間)

- 校内装飾やペープサートなど児童たちが喜んでいるのがうれしいです。 (50代、5年以上)
- 日々、学校は忙しく日程も直前に決まったりして、保護者優先にボランティアを募ってほしいのですが、なかなか実現は難しいのが実態。 (60代、5年以上)
- 以前、児童クラブで児童と接してきましたが、自分自身の聴覚の衰えを感じ、児童の安全を守れないと自覚し退職しました。その後、所用で小学校を訪れたところ、当時通所していた児童から「あ、〇〇さんだ！こんどいつくるの？」という単に「こんにちは」ではない、私だけにしてくれたあいさつが心に残っています。その児童はもう中学も終わりがらいかな。 (70代以上、1年未満)
- 地域と学校のつながりが一番ですが、なかなか保護者とのふれあい・つながりが持てない部分があり、淋しさを感じる場所があります。今後、学校・地域での行事活動をPRし、保護者ぐるみで活発な活動へと発展していけたらと思います。人口減、子どもたち減の中、私たち一人ひとりが見守り、さらなる健全育成、教育活動につながるように！ (60代、2年間)
- 学校へ行くことで子どもたちの笑顔や元気な姿に触れる時間は、私にとってもエネルギーとなっています。身体が動くうちは学校へ協力させていただきたいと思っています。 (60代、5年以上)
- 今の先生方の変えがよく理解できました。 (70代以上、5年以上)
- 小学校での読み聞かせに東日本大震災に関する絵本を読んだ時期が2、3年ほどあった。最初の年は生徒さんたちが関心を持って聞いてくれていると感じたが、後になるにつれて、自分が生まれる前のことは、もう単に歴史になっているせいか、やっと耳を傾けているという感じが伝わってきて、もうその絵本は読まなくなった。過去の出来事を伝えていくことの難しさを感じた。 (70代以上、5年以上)
- ボランティアで学校に行くと、顔見知りの子もたちが嬉しそうに寄ってきてくれたり、話しかけたりして来てくれます。自分の親ではないにしろ、やはり学校という領域に親の立場の人が来ると安心したり、気持ちが良い意味で緩むものなんだと感じます。子どもが生まれる前や、ボランティアをする前は、学校には基本的に親が入るものではないような、一つ壁があるように感じていましたが、ボランティアをすることで学校との距離感が縮まり、先生方への相談も早めに行けたり、子どもの様子を知れることで子どもの友達を覚えたり、こちらも覚えてもらうことで子どもとの共通の話題も増えたり、話の内容の解像度があがって子どもとの距離感も良好さを保てるようになったと感じています。 (40代、5年以上)
- 子どもたちの生活面での乱れを強く感じます。生活リズム、ことばの乱れなど、以前より悪くなっているように思います。原因は何なのかよくわかりませんが、スマホ、メディアへの依存が強いことも一因ではないかと思っています。スマホ、メディアとの関わり方など対策を今後も取り組んでほしいと思います。先生方のつながりについても少し不安な面を感じます。先生方が同僚との関係、仲間意識をしっかりと持っていればよいのですが… (60代、1年間)
- 主に本の読み聞かせと登校時の見守りをしていますが、7年度は特に登校地域にクマの出没情報が多く、子どもたちの安全を守るのか不安な日々が続いた(当地域は山間地区のため、避難するところがないのです…) (70代以上、5年以上)
- コーディネーターの方が活動を調整してくださったり、ボランティアメンバーへの心遣いをしてくださったりと、その御苦労にただただ感謝しています。 (60代、5年以上)
- マンツーマンの授業内容に参加するようにしています。(例、家庭科、手縫い、ミシンのかけ方他) ミシンの故障が多かったり、ミシン糸がお粗末な品物だったりするのを見かけます。改善した方がよいと思います。 (70代以上、5年以上)

- 1年生の給食配膳の手伝いでボランティア参加しました。慣れない学校生活で頑張っている子どもたちの様子を少しですが見ることでとてもよかったです。秋探しの引率では子どもたちが拾った落ち葉を嬉しそうに見せてくれたり、たくさん話しかけてくれました。自分の子どもやクラスの様子も同時に知ることができるのは保護者としても学校を身近に感じることができると思うので、来年度も都合が合えば参加したいです。
授業の手伝いボランティアに関しては、該当学年の保護者も参加できるように早めにアナウンスしてほしいと思います。日程が分かれば仕事など調整して子どもの様子を見たいと思う保護者も多いと思います。働く親が増えているので数週間前にアナウンスがあっても集まらないのがとてももったいないです。だいたいの日程や、毎年必ず募集する活動(交通安全指導、秋さがし、まちたんけんなど)前年の活動記録を配布してもいいのではないのでしょうか。
- 自分の子どもが通学していた頃は、積極的に学校活動に参加していました。その日課で現在も見守りを続けています。近所の6年生の児童もこの春卒業しますし、いつ私の活動をやめたらよいものか考えているところです。(40代、5年以上)
- 子どもたちとの距離が縮まりました。(60代、1年未満)
- 継続して関わっていると、子どもたちの成長が見られて嬉しく感じました。担任の先生がボランティアに敬意を払ってくださるクラスは、子どもたちもボランティアに対して敬意を払ってくれるような気がします。(自治三訣では「報いを求めず」ですが、活動の励みになりました。ちなみに非礼な態度をとられたことはありません事申し添えます。先生方にはいつも感謝のことばをいただいています。)(60代、3年間)
- ボランティア会員の交流会等が少なく、個人活動になっている。(70代以上、4年間)
- まち探検などボランティア任せのことが多い。教員は前を歩くだけでほとんど子どもたちのことを見ていない。少人数クラスならボランティアに頼らず教員だけでやるべき。当たり前だと思わないでいただきたい。(40代、5年以上)
- この2年間ボランティア活動を行い、学校の先生方の大変さが分かったように感じられました。そのため、私で何かお手伝いになれることがあればと思い、引き続きボランティアを行っていこうと思います。また、学校方針、担任の方の生徒に対する考え方を手伝い方によっては迷惑になるのではないかと感じることもあります。なので、ボランティアはどうしたらいいかな？とその場面ごとに一呼吸を入れながら動いていこうかなと思っています。(60代、2年間)
- 毎年アンケートをいただきますが、次年度以降は不要と考えます。田原小学校は母校であり、必要なボランティアには応じたいと思っています。ここ3年ほどは体験学習(田植え、稲刈り、脱穀)のお手伝いをしていますが、他の学校でのボランティアは考えておりません。地域に子どもの姿は本当に少なく、「クマ騒ぎ」以降歩いて登下校する姿も見かけることは皆無となりました。残念なことです。どうぞよろしくお願いいたします。(60代、5年以上)
- 授業中、教室の外で遊んでいる児童の対応に先生方は苦勞されていました。遊んでいる児童が教室に入ってこなければいいのですが、教室でも騒いでいたので入ってこれないようにできないものかなと思いました。しかし、遊んでいた児童の中にはエプロン作りに遅れて参加しましたが完成させた子もいました。「上手に縫えたからちゃんと授業に参加すればもっと早くできたのにねえ」と声を掛けたところ、ちょっとニヤニヤしながら満足そうにしていました。子どもたちが作品を完成できるよう、できれば使える作品になるようこれからもお手伝いしていきたいと思っています。(50代、5年以上)

- 読書ボランティア研修会に毎年参加させていただいております。今年度の研修会、私 (70代以上、5年以上)
 にとってはとても勉強になりました。私はいつも自分の好きな絵本、例えば、花咲山、
 てとてとてとて、うんち、くもの糸等々半教育的な(?)絵本を取り上げることが多くあり
 ましたが、今回の研修会で朝一日のスタートなのだから明るく、楽しい絵本を選んだ方
 が良いという講師先生のお話はとても参考になりました。
 来年度もしこの活動を続けていけるのなら意識して取り上げていこうと思っています。
 いつもありがとうございます。

- 小学校で児童の対応に多くの時間、多くの教員が振り回されている実態を見て大変だ (60代、1年未満)
 と思いました。

- ボランティアという括りは閉ざされているように感じるので、通っているこの保護者が気 (40代、2年間)
 軽に参加出来るように工夫した方がいい

- 学校の実態とボランティアとをつなぐ地域窓口支援員の職員のおかげ様で、できる活 (60代、1年未満)
 動だと感じている。

- 登録はしていますがなかなか参加出来ずに申し訳ないです。 (40代、1年間)

- 授業の補助に行くと、手際の良いお子さんは、三世代のお子さんで、おじいちゃんやお (60代、5年以上)
 ばあちゃんから教えてもらった。と言う言葉が聞かれます。核家族では、生活を流すこ
 とで精一杯で余裕が生まれないのでしょうか。本来家庭で見聞きする作業は日常の忙し
 さに切り捨てられている気がします。私が手芸や料理を趣味とする根本には、小学校
 での調理実習や中学で作ったスカートやブラウスなどの授業にあったかと思います。
 地方では18歳で親元を離れます。時間に余裕がある小中学校の時期に、衣食住の
 生きる力をフォローして育てて社会へ送り出したいと、日々思って活動させていただ
 いてます。

- 子どもの健全育成は①家庭・②学校地・③地域であると思いますが、③が希薄な感 (70代以上、3年間)
 じ。
 解決策は？ 難しい！

- こども達との距離感が微妙なところがある。 (70代以上、5年以上)

- 子供たちが受け入れて話しかけてくれること また来てほしいと言ってもらえること (40代、3年間)

- まだ活動には数回しか参加していませんが、子供たちの様子を見ることのできる貴重 (60代、1年未満)
 な体験でした。今どきの子供たちは私のようなオバさんにどんな反応をするのか不安
 でした。そんな中、中学校の家庭科裁縫補助では子供たちの方から聞いてくる事が多
 くとても安心しました。
 まだまだ世の中捨てたもんじゃないなあと思った次第です。

 人と触れ合う事、話をする事がとても楽しく思えました。

○ 今年やってみての感想を書きたいと思います。

この事業は総論は賛成ですが、各論(方法論)に問題があると考えます。

私は今年2回お手伝いに出かけました。1回目は、生活科の授業に入るというものでした。10分間も廊下で待たされ、やっと中に入ったものの、紹介もなく、何をすれば良いのかの話もなく、ただただ、後ろに立っているだけでした。朝顔の観察でテラスに出たのですが、先生は子ども達に「朝顔をスケッチしたら、お手伝いの先生に見せてね」とのこと。私は、担任の先生のねらいも分からないため、ただ「上手だね。ここをもっと詳しく描いてみたら」のありきたりのことしか言えませんでした。

このことから、「何を手伝えばよいのか、分からない手伝いなど、私の支援内容の学習支援ではない」と不快な時間の何ものでもありませんでした。

2回目の訪問では、改善を期待して行ったものの、「突然水泳の時間になりました。すみません、プールでの監視でもされますか」とのこと。変更するなら、連絡してくれば、行かなくても済んだのにと一層の不快感を抱きました。

2度も不快感を味わったことから、その後は、申し訳ないのですが、行く気が失せました。

これらのことから、この事業の総論である先生の仕事の負担軽減(先生方の働き方改革でしょうか?)をはかることには賛成ですが、各論である方法について、次のような問題点があると思います。

・何を手伝ってもらうのかを明確になっていない。→ボランティアがこの日来るけど、何をやってもらう?というような方式では、本末転倒である。

・プールでの監視などもってのほか。事故があったらどうするのか。

・時間が決まっているのだから、時間厳守である。10分間も待たせるなんてあり得ない。

・最初に紹介、最後に謝辞は当たり前のことだが、やっていない。

・学習支援の内容である丸付けは、長期休業後のたくさんの丸付けが必要な時にはあっても良いが、普段の丸付けは担任が子ども達の学習成果の把握や、授業に生かすための間違いの把握等々、担任がすべきものと考えます。

・不快な思いをしたのに、謝罪に訪問したのは、行政の支援ボランティア担当で、学校の担当者は来ないのはいかがなものか。→校長には一連のことや不快なことは伝えた。

以上、この事業を学校の先生方が共通理解を図り、本当に必要な補助を外部にお願いするとともに、双方がやってよかった。手伝ってもらって有り難かったと思える事業となるように切に願うものです。

○ ボランティア活動を通じて、子どもたちが生き生きと活動したり、友達を手伝う優しさに触れることがあり、こちらも元気をいただいています。 (40代、3年間)

また、先生方が日々子どもたちのために尽力してくださっていることも実感でき、本当に頭が下がります。

そして、地域コーディネーターさんも様々調整されたり、自らもボランティアとして活動されている姿、こちらも頑張ろうという気持ちになります。

ただ、活動時間帯が日中で、仕事を持つ身としては、なかなか都合の合う日がなく、あまり参加できない期間もあります。そこで、装飾など持ち帰りして自宅で作業、という提案をしたところ、採用していただきました。

同じように仕事や介護や育児などがあり、意欲があってもなかなか参加しにくい方もいるのでは、と思います。また、大規模校だから、誰かやってくれる…私もそんな風に考えたことがあります。それもあってか、大規模校でも人手の足りないことも有るようです。

そこで、活動も様々な在り方があれば、参加しやすくなるのでは、と思いました。

今年度ありましたが、親子レクで子の授業補助(ミシン、版画)がありました。意外でしたが、サポートが増えるので子どもたちの安全面も向上し、親子の時間も持てて良かったと思います。

今後は、授業参観ではなく、授業参加として、保護者に協力を呼びかけるのも良いかもしれません。

また、例えば、装飾などは、持ち帰り作業のほか、保護者が授業参観や運動会、学習発表会で来校した際に、ボランティアコーナーを設けて、数分でも作業してもらう、というのはいかがでしょうか。

素人の考えで申し訳ありません。調整が難しいものもあるかと思いますが、ご判断はお任せいたします。

これからも学校が子どもたちにとって良き学びと出会いの場となるよう、微力ではありますが、出来るだけ活動を続けたいと思います。

- 無理せず、細々と活動に活動しています。郊外活動の引率も、子どもたちのペースに
ついていくのが大変になり、このところ参加していません。
子供たちや先生方のため、というより自分のため…のこの頃です。
外部の人間がかかわることが、職員の方々のストレスにならないよう、気をつけていま
す。 (70代以上、5年以上)
- 先生方だけでは、特に低学年の子の見守り、安全確保は難しいと感じました。思わぬ (30代、4年間)
方向に行動する子もまだいるため、ボランティア支援は必要だと参加すると思います。
- 先の予定だと決まりにくく参加しにくいので、前日や当日に手を挙げられる仕組みがあ (40代、3年間)
れば、参加しやすいと思います。(丸つけなど)
- 南中が昨年12月、読み聞かせを再開したが、継続することを願います。 (60代、5年以上)
- ペープサートを通じて普段行けない小学校や幼稚園に行けて、子どもたちと触れ合う (50代、5年以上)
ことができ癒されました。これからも身体が続く限り協力させていただきます。
- 子どもたちから元気もらってます。 (60代、3年間)
- 「絵本を読んで終わり」ではなく、前後だったり、読み終えた後だったり、ちょっとした関 (40代、4年間)
わりの時間を大切にしてくださる担任の先生方のクラスのことは印象に残ります。「読
み聞かせ」を大切に思っているのだろうなあと嬉しく思います。
- 支援活動の範囲。どのような支援をすれば効果的なのかなと思っています。 (60代、2年間)
個人的に、家の仕事、またいろいろな団体の活動を抱えていて、学校に行けなくなっ
てきています。できるところで取り組んでいきたいと思っています。
- <毎月のよみきかせ> (40代、5年以上)
低学年のうちは親など大人に読み聞かせをしてもらうことはありますが、学年が上がる
につれてそういう機会は少なくなってくるので、(正直5、6年生だと緊張しますが)今
後も続けていければと思います。
<読書まつり(年1回)>
人形劇やペープサートを上演したり、大型絵本のよみきかせをするのですが、児童の
皆さんからどのような反応が来るかな?どうしたら喜んでくれるかな?と想像しながら
話し合ったり練習しています。なので、当日、セリフも聞こえなくなるほどの反応がある
と安心するとともにみんなガッツポーズをしています。
そんなこんなで私自身も楽しんで活動に参加させていただいているので、できるだ
け長く続けていけたらと思っています。
- 朝読書で小学校の支援学級に行った時のことです。一番落ち着かず、おしゃべりや立 (70代以上、5年以上)
ち歩きばかりしていた男の子が「帰らないでー!」と帰り間際に近寄ってきたのです。う
ろろしながらもちゃんと話を聞いてくれていたことに愛おしい思いで握手をし、教室を
後にしました。
朝読書の短時間ながらも様々な出会いとたくさんの感動や喜びをいただいています。
- 担任の先生の負担が大きいと感じています。話を聞かない、聞こうとしない、えんぴ (40代、1年未満)
つ、赤、青えんぴつ、ノートなどの文具が揃っていない、こんな中で40人近い児童を一
度に見るのは大変です。支援学級に行く児童もクラス人数1名とカウントすべきだと思
います。トータル学年人数36名で2クラスに分けるべきだと思います。
現在、働き方改革が行われています。徐々に先生方にとって良い環境になってきてい
ると思いますが、まだまだこのままでは、教師を志願する人がいなくなり、現役の
先生もいつ退いてしまうか不安です。
- できれば羽田小のボランティアに参加したいと思います。 (60代、5年以上)

- 図書館の本をきれいにしていた作業中、本を借りに来た高学年の子が、自発的に「ありがとうございます。」と声をかけてくれて、やっていたよかったと実感しました。作業系の授業のお手伝いが多いので、特に感じるのかもしれませんが、人数が多いクラスの担任の先生方は大変そうだと感じます。1クラスの人数が20～25人程度だと、子どもたちもゆったりとして落ちついている感じを受けました。(60代、4年間)
- 挨拶をしない子ども達でしたが、読み聞かせや登校の見守りを通じて、挨拶をしたり会話をしたりするようになった。(60代、2年間)
- もっと沢山の父兄さんや、地域の方々がボランティアに来てもらえたらいいのにと思いました。(40代、5年以上)
- 家族や先生だけではなく、地域の大人たちが見守り、育てることの一端を担う(と言うと大袈裟かも知れないが)ことは、昔であれば普通にあったことだが現代は希薄になってしまっている…と言われる中、様々な活動でそれが保たれているのは素晴らしいことだと感じた。こういった温かい活動がずっと続く奥州市であって欲しいと思う。(50代、3年間)
- 江刺愛宕小学校は、今年度読み聞かせの活動が全く無かった。理由は学校が？先生が？忙しいからということだが、疑問に思うし、元気な子ども達に会えないのは残念に思った。
江刺愛宕小学校は、朝は図書館を開館しないらしいので、その分読み聞かせをして読書のきっかけを作ってはいかがかと思う。また、朝も開館できるようにボランティアを頼ってみてはいかがだろうか。
- 江刺愛宕小学校は下校時の見守りが無いが、熊の被害や歩道がない所を歩行しなければならぬ危機感を考慮、また子ども達の交通安全に対するマナーの悪さへの改善をするためにも、必要ではないかと思う。(50代、5年以上)
- 習字授業の補助をしたが、これでは担任の先生が1人で授業をするには大変だと感じた。必要な授業にはこれからもどんどんボランティアを頼ってもいいのではないかと思う。また、授業補助をしてみても役に立てたことが嬉しかった。
- 他の学校のボランティアにも参加したいとは思っているのですが平日休みが取りづらくいつどんな活動をしているのかも分からず参加出来ていません。手薄の活動などあれば優先的に参加してみたいです。(30代、5年以上)

令和7年度

学校支援地域本部事業に関する調査

【対象：事業実施校(教員)】

集計結果

調査期間：令和8年1月21(水)から2月20日(金)まで
調査対象：事業実施校25校(校長、副校長、担当教諭を
含む3名以上の回答を依頼)
アンケート提出者：132名

問1 当事業について、率直な感想をお聞きします。

	回 答	回答数	割合
1	助かっている	121	91.7%
2	どちらかといえば助かっている	9	6.8%
3	どちらかといえば負担になっている	0	0.0%
4	負担になっている	0	0.0%
	無回答	2	1.5%
	計	132	100.0%

問2 問1で「助かっている」または「どちらかといえば助かっている」を選んだ方について、どのような支援が助かっていますか。【複数回答可】

	回 答	回答数	割合
1	本の読み聞かせ等	105	21.9%
2	校内の環境整備、装飾	79	16.5%
3	ペープサートの上演	20	4.2%
4	本の修繕、整理	51	10.6%
5	校外活動の引率	48	10.0%
6	登下校の安全確保・見守り	31	6.5%
7	授業の補助	91	19.0%
8	学校行事の補助	40	8.4%
9	その他	12	2.5%
	無回答	2	0.4%
	計	479	100.0%

回答者数

130名

7 授業の補助の内訳

- 調理実習やミシンを使用する学習の補助 28
- 習字の授業補助 11
- 技術、図化工作の補助 10
- 総合学習 9
- 生活科 7
- 特別な支援が必要な生徒への対応 4
- 見守り 3
- リースづくり 2
- マラソン練習路上見守り 2
- ゲストティーチャー 2
- 校外学習の支援 2
- ブックトーク

9 その他の内訳

- 給食準備補助 3
- 職場体験学習の連絡調整 2
- 米作り体験学習
- 宿泊体験学習
- 図書館業務支援
- しおりの作成
- ブックスタンドの作成
- 環境整備等の校外学習の指導

問3 問1で「どちらかといえば負担になっている」「負担になっている」を選んだ方について、その理由をご記入ください。

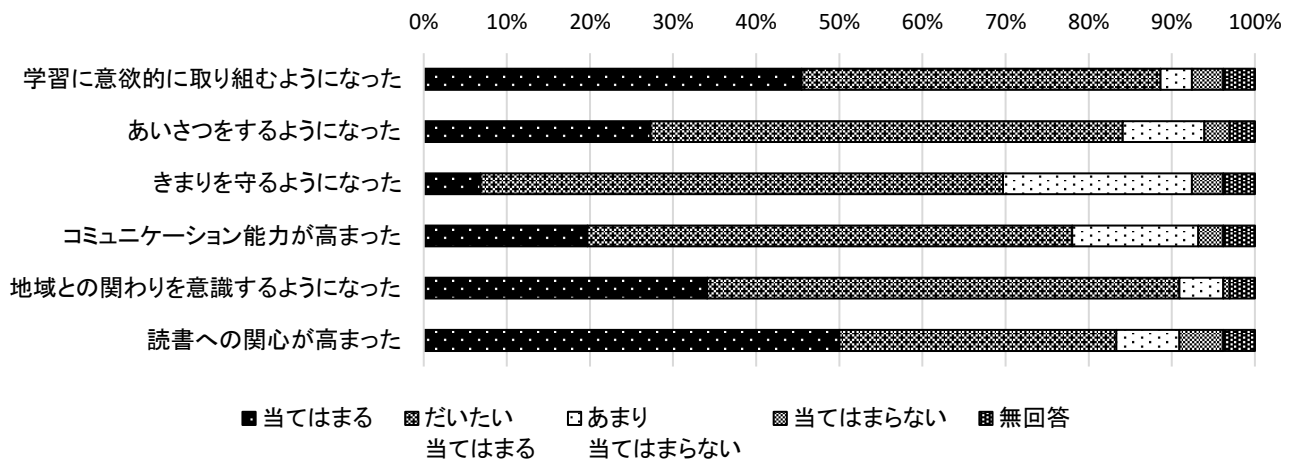
なし

問4 当事業を行うことにより、それぞれにどのような効果がみられましたか？最も近いものを選んでください。

(1) 児童・生徒に対する効果

項目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答
1 学習に意欲的に取り組むようになった	60	57	5	5	5
2 あいさつをするようになった	36	75	13	4	4
3 きまりを守るようになった	9	83	30	5	5
4 コミュニケーション能力が高まった	26	77	20	4	5
5 地域との関わりを意識するようになった	45	75	7	1	4
6 読書への関心が高まった	66	44	10	7	5

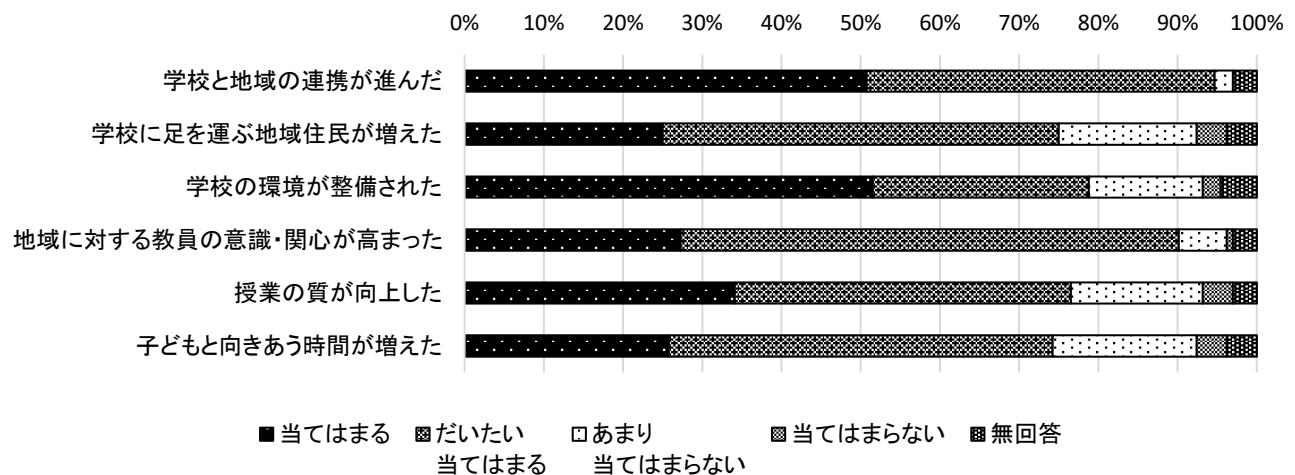
回答者数 132名



(2) 学校・教員に対する効果

項目	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無回答
1 学校と地域の連携が進んだ	67	58	3	0	4
2 学校に足を運ぶ地域住民が増えた	33	66	23	5	5
3 学校の環境が整備された	68	36	19	3	6
4 地域に対する教員の意識・関心が高まった	36	83	8	1	4
5 授業の質が向上した	45	56	22	5	4
6 子どもと向きあう時間が増えた	34	64	24	5	5

回答者数 132名



問5 今後、どのような支援が必要ですか？【複数回答】

	回 答	回答数	割合
1	学習指導	81	15.7%
2	クラブ活動補助	51	9.9%
3	登下校の安全確保・見守り	43	8.3%
4	本の読み聞かせ	70	13.5%
5	校外活動の引率	53	10.3%
6	特別な支援を要する子どもの支援	74	14.3%
7	図書室等の環境整備	71	13.7%
8	学校行事の補助	62	12.0%
9	その他	12	2.3%
	無回答	0	0.0%
	計	517	100.0%

回答者数

132名

7 授業の補助の内訳

- 家庭科支援(ミシン、裁縫、調理実習等) 20
- 習字の学習支援 7
- 図工・技術 5
- 生活科 3
- 音楽・合唱指導 4
- 総合的な学習
- 職場体験学習
- 郊外学習の指導や生徒の学習支援
- 学習についていけない生徒の学習支援
- 体力テスト支援、丸付け支援、授業見守り支援
- 授業中の声かけや作成補助、プリントドリル類の丸付け。
- 体育などの実技教科
- 授業中の個別の学習支援、実技教科の作業の支援
- 生徒活動の見守り、校内巡視
- 体育準備 算数 理科実験準備
- 理科
- 1年入門期の支援、特別な支援を要する児童の支援
- 給食指導の導入期の補助

9 その他の内訳

- 特別な支援を要する児童の支援 2
- 壁面装飾 2
- 校内掲示(装飾)
- 休み時間の見守り
- 生徒の安全確保指導が必要な場面での補助
- 地域との連携窓口
- 1年生給食支援、清掃支援
- 例えば夏季休業中のプール監視員や冬季の通学路の除雪などを支援していただきたい
- 地域資源(人材)の紹介
- 休み時間の児童の遊び支援

問6 学校支援ボランティアと子どもたちが関わる場面で印象に残る出来事がありましたらご記入ください。また、日頃感じていること、ご意見等がありましたらご記入ください。

【小学校】

- 読み聞かせの時間を楽しみにしている子どもたちが多くいます。きらきらした瞳でお話しの世界に入り込む様子が見られます。
- 校外学習中、具合が悪くなった子に付き添って帰校していただき助かった。
- 子どもの対応に慣れている感じがします。休み時間に児童間のトラブルが多いことから、その時間に見守りをしてもらえるとありがたいです。
- ミシンの授業にたくさんボランティアさんが来てくださり、スムーズに授業が進みました。ステージの幕が破けてしまったときに、ボランティアさんに直してもらい助かりました。
- 本の読み聞かせをしてもらうと、担任が読むのとはまた違い、話の中に入り込み真剣に聞いている。
- 本の読み聞かせでボランティアの方が選書してくださった本が面白く、子どもたちが楽しみにしている。
- 総合学習等の講師の方とのやり取りなどやっていただき、大変助かっている。今後お願いしたい。
- いつもありがとうございます。
教職員だけでは行き届かないところの米作りやいろいろな場所の見学の引率など、大変ありがたく感じています。衣川の地域への関心も高まりました。(子どもも担任も)今後ともよろしく願います。
- 自然に関すること、生き物に関すること等、専門的な知識が学べた。地域活動の計画を進んで行ってくれた。
- 学校支援ボランティアが地域人材とのつなぎ役となっていることで、体験学習やキャリア教育の内容が児童に身近に感じられ、充実した学習を行うことができている。
- マラソン練習でコース上で見守りをいただいているときに防災無線で付近に熊出没の放送があった。ボランティアの方々にも協力していただき、児童を集合させ安全に学校まで戻ることができた。大人が近くに複数いたことで、児童は、安心して行動することができた。とても感謝しています。
- ペープサートでの、児童の生き生きとした表情
- 学校に来校していただけることで、あいさつをする姿勢が一層身についた。
- ボランティアさんが授業の補助、校外学習の支援に来ていただき、大変助かっています。今後も地域の方に支援いただくことができるこのシステムを大いに利用させていただきます
- 定期的な読み聞かせ活動の時間が、子どもたちにとって大変有意義である。落ち着いて、集中して耳を傾ける時間を、今後も大切にしたい。放課後の補充学習等、個別の学習指導が実現できるといいな…と思っている。
- 子どもたちの活動を充実させるために、学校支援ボランティアの活動は必要不可欠だと感じる。前任校では、各学校に1名配置になっており、活動についての打ち合わせや地域との連携などについて臨機応変に対応することができた。子どもたちのためだけではなく、職員の働き方改革につながると考える。
- 家庭科でミシンボランティアに入っていただき、子どもたちは抵抗なく機械操作ができていた。中学校区だと、学級数が多く、急な対応が難しいと感じる。前沢は小中一校ずつなので融通が効く。ペープサートではなく、読み聞かせのボランティアの方と一緒に人形を使用した劇に近い内容のものである。

- いつも快く対応いただきありがとうございます。
- 学校からの要請に対して、いつも迅速に対応していただきありがとうございます。
- 読み聞かせボランティアの方においでいただき、読書祭りで読み聞かせをしてもらった際、子どもたちが、釘付けになっていたこと。物語の世界にどっぷり浸かっていた姿。校外学習のとき、ボランティアの人と手をつないで帰ってきたこと。
- 校外学習では、ボランティアのみなさんの力をお借りすることで、児童の安全面が確保されていることをありがたく思っています。
- たくさんのボランティアの方が来ていただいて、先生方もとても心強いです。
- いつも大変お世話になっております。お願いしていた日に、こちらの都合で実施できないものなどあると大変申し訳ないと思っております。そのようなことがないように次年度を見越した計画や、年度途中の計画の見直しなどを今後も行っていきます。
- インフルエンザのため延期したペープサートによる公演会において、児童が目を輝かせ楽しくお話を聞くことができた。
- 支援ボランティアの皆様には、いつも教育活動を支えていただきとても感謝しています。来年度もぜひお願いしたいと思います。
- 常に子どもたちを温かく見守ってくださり、子どもたちは安心して活動することができています。また、教職員にとっても、様々な面でご支援いただき、業務や負担感の軽減などにつながっています。改めて感謝申し上げます。
- 学校からの依頼に対して、確実に応えてくださり感謝感謝でした。特に、来校してくださるボランティアの人数も多く、コーディネーターの人脈の広さにビックリしていました。普段やんちゃな中学年の男子にノコギリの扱い方を手取り足取り教えて下さっている様子が大変微笑ましかったです。
- 4年生の図画工作のノコギリを補助していただいた時間には、安全に目を配りながら子どもたちに手取り足取り教えていただきました。いつも気持ちよく子どもたちや先生たちと関わっていただけて助かっています。今後ともよろしく願いいたします。
- 多くの目で子どもたちの様子を見たり成長を感じたりできるのでとてもありがたいです。
- 縦割り活動として校内オリエンテーリングを行ったが、たくさんのボランティアに運営の補助をしていただき、子どもたちにとって楽しい行事にすることができた。また、参加されたボランティアの皆さんも満足した内容だった。他には、図書まつりの際、もちもちの会の方によるペープサート、寸劇、読み聞かせと内容が充実し、児童の読書への関心を深める活動となった。ミシンを始めとする各種実技の学習支援においては、グループに配置でき子ども達もすぐに聞くことができたし、安全面においても大きな効果があった。
- 5年生の家庭科の裁縫・ミシン・調理実習等で、たくさんのボランティアの方に来ていただいた。家庭科入門期の5年生にとって難しい活動も、サポートのおかげで安全に、また子どもたちが楽しく行うことができた。だめなことはしっかりとご指導いただき、基本的なことを身につけることもできた。
- 私は学校司書をしています。2校兼務のため、1校の業務時間は限られています。そのため、年間を通じてボランティアさんに読み聞かせ、図書作業の支援をいただけており、大変助かっています。図書館教育の充実において、ボランティアさんの活動はなくてはならないものになっています。本当に感謝しています。そして、活動が継続できていることも、大変心強いです。コーディネーターさんが日々調整してくださるので、その存在もとても大きいです。別の学校では、大規模校であっても、ボランティア人員が少なく苦労しているところもあるようですので、今後も活動が継続できるよう、学校側としてもボランティアさんの意見も取り入れながら、子どもたちの学びをサポートしていきたいと思っております。

- 生活科の町探検で各グループにサポートをして頂き、子どもたちは安心してお店をまわって見学や質問活動に取り組むことが出来ました。熊の目撃情報がある時期でしたので、安全確保の面からも大変お世話になりました。大人の目があることで張り切って挨拶や質問も頑張る姿が見られました。
- 調理実習で美味しい味噌汁が完成した時に子供達がとても嬉しそうでした。実習は、一人の教員ではなかなか目が届かない部分があるので大変助かっています。今後とも是非お願いしたいです。
- 地域コーディネーターの方が調整して下さることで、連携が円滑に進むことができたと思っています。
- ボランティアさんが子どもたちと関わって楽しい表情をしているのを見るのが学校としてもとてもありがたく、やりがいを感じる。
- いつもありがとうございます。子どもたちへの細かい指導があることで、子どもたちも分かりやすく学習できています。これからもよろしくお願いします。
- ミシンボランティアの方々には、ミシンの不具合があると、すぐに対処して下さったので、子ども達のエプロン制作がスムーズに進んだ。事前の打ち合わせをもう少ししっかり行っていきたいと思う。
- 学校支援ボランティアの方が積極的に子どもたちに声をかけてくれるので、子どもたちも笑顔で安心してその時間を過ごすことができます。
- 本当に助かっております。ありがとうございます。

【中学校】

- 地域コーディネーターの働きかけにより、昼休みの図書室で、生徒には連絡無しで、抜き打ちの絵本の読み聞かせを行いました。落ち着かない生徒が騒いでいる環境でも、熱心に耳を傾ける生徒もあり、時間場所を決めない形での「読み聞かせ」を受け入れる環境があることに驚きました。来年度は文化祭での展示鑑賞時間での実施も検討しています。
- 教諭、生徒が安心して学習に取り組むことに繋がっている
- 読み聞かせを真剣に聞く様子が見られる

- 毎年来ていただいております。＜技術＞大工さんにプロの技を教えてください、生徒たちも関心を示しながら一生懸命製作に取り組む姿が多くの場面で見られます。ありがとうございます。
- 昼休みにサプライズおはなし会を行っていただいていた時、リラックスした空間での生徒とボランティアさんとのやり取りが、ただ本を読むのを聞いているだけではないコミュニケーションが生まれていてとても心あたまるものでした。いつも色々と助けていただきありがたく思っています。これからもよろしくお願い致します。
- ボランティアの方々の支援により、本校では読書が盛んです。図書室は、きれいに整備されて楽しい装飾もあり、校内で最も人気のある場所になっています。下校の見守りも定期的にしていただき、感謝でいっぱいです。
- 中学校でも小学校のような学習支援が必要な子どもが増えています。そのような補助される方がおられれば助かります。

- コーディネーターが中心となり、地域の方がたくさん学校に関わってくださっており、とてもありがたいです。

- ボランティアさんの活動が最後の日に授業を終えた生徒が、ボランティアさんのところに行って「教えてください、ありがとうございました。」とお礼を言っていたこと。

令和7年度

学校支援地域本部事業に関する調査

【対象：事業実施校(児童・生徒)】

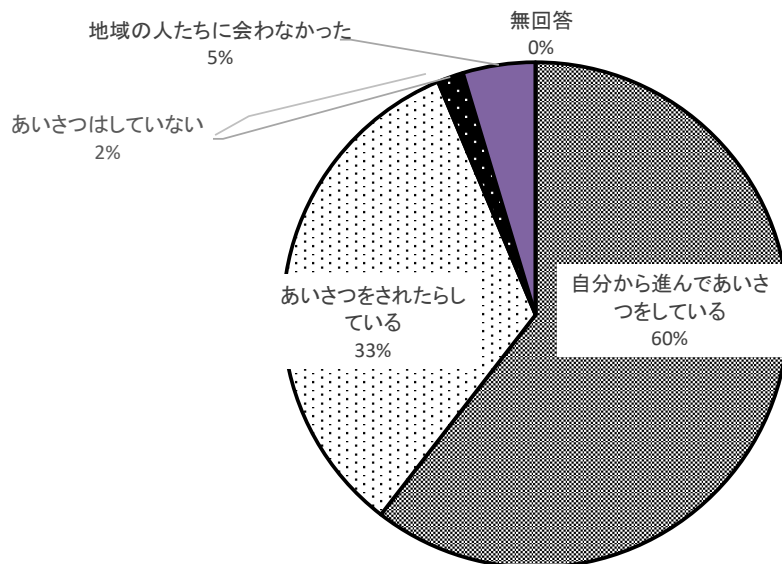
集計結果

調査期間: 令和8年1月21日(水)から2月20日(金)まで
調査対象: 事業実施校25校(小学5年生、中学2年生を対象とし、各校1クラスに回答を依頼)
アンケート提出者: 539名

問1 学校内で地域の人たちにあいさつをしていますか？

回答	回答数	構成比	R6構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比
(1) 自分から進んであいさつをしている	326	60.5%	63.2%	69.0%	72.3%	74.3%
(2) あいさつをされたらしている	179	33.2%	31.7%	26.3%	25.2%	24.5%
(3) あいさつはしていない	9	1.7%	1.6%	1.8%	2.3%	1.3%
(4) 地域の人たちに会わなかった	25	4.6%	3.1%	2.9%		
無回答	0	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%
計	539	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

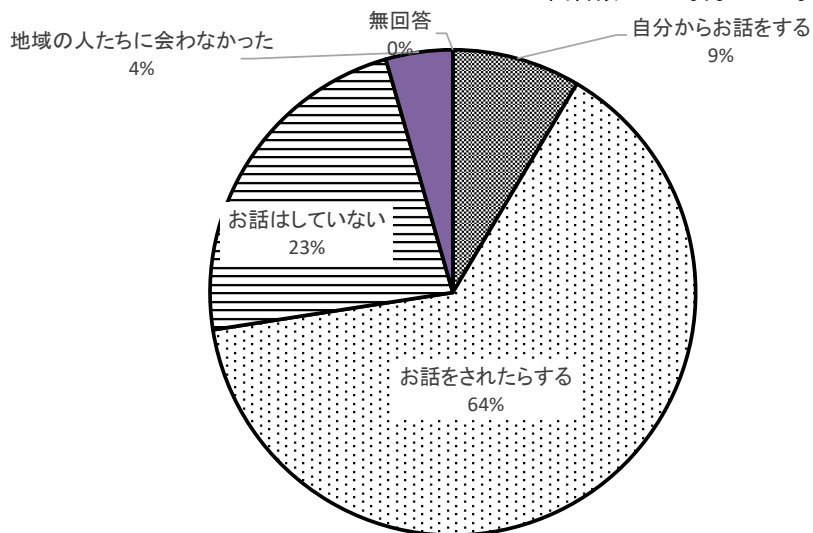
回答数 608 616 571 548



問2 地域の人たちに出会った時にお話をしますか？

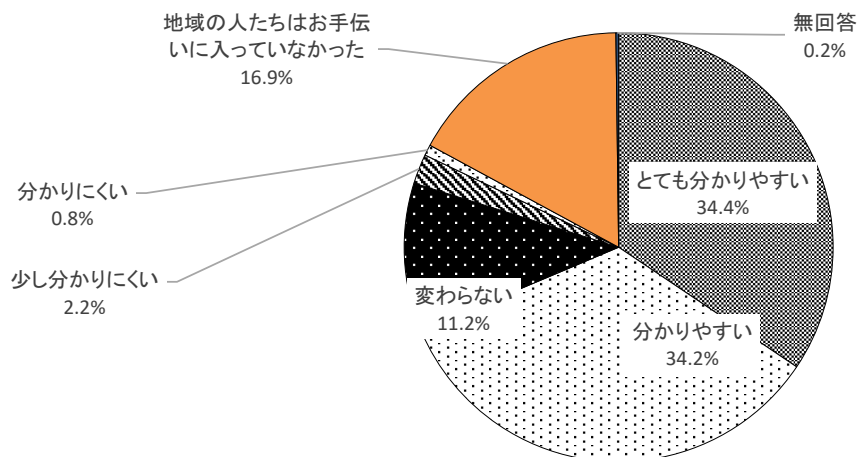
回答	回答数	構成比	R6構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比
(1) 自分からお話をする	46	8.5%	6.9%	6.2%	7.9%	9.1%
(2) お話をされたらする	345	64.0%	59.4%	67.7%	74.6%	71.2%
(3) お話はしていない	124	23.0%	29.4%	22.6%	17.3%	19.7%
(4) 地域の人たちに会わなかった	24	4.5%	4.1%	3.6%		
無回答	0	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%
計	539	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

回答数 616 616 571 548



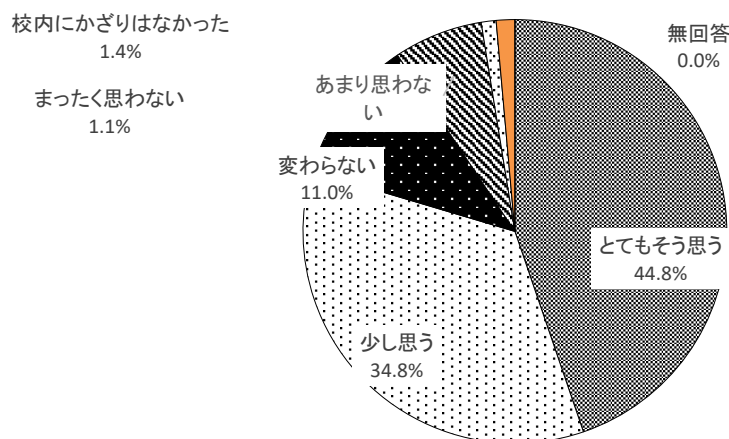
問3 地域の人たちがお手伝いに入ることによって授業は分かりやすいですか？

回答	回答数	構成比	R6構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比
(1) とても分かりやすい	169	34.4%	34.5%	32.6%	38.4%	54.5%
(2) 分かりやすい	168	34.2%	41.4%	37.0%	35.9%	36.4%
(3) 変わらない	55	11.2%	11.4%	13.3%	13.7%	7.6%
(4) 少し分かりにくい	11	2.2%	1.4%	1.1%	0.7%	0.7%
(5) 分かりにくい	4	0.8%	1.3%	0.8%	0.7%	0.7%
(6) 地域の人たちはお手伝いに入っていないかった	83	16.9%	9.3%	14.8%		
無回答	1	0.2%	0.7%	0.3%	10.7%	0.0%
計	491	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



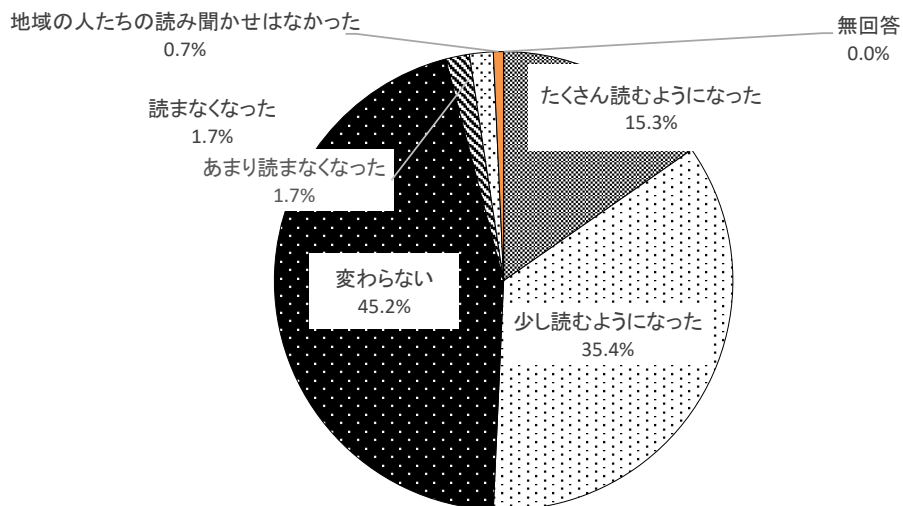
問4 校内にある飾りを見て楽しい気持ちになったり、学校が明るくなったと思いますか？

回答	回答数	構成比	R6構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比
(1) とてもそう思う	158	44.8%	41.1%	24.1%	47.6%	44.2%
(2) 少し思う	123	34.8%	36.7%	33.8%	33.8%	37.1%
(3) 変わらない	39	11.0%	13.7%	15.1%	9.1%	14.1%
(4) あまり思わない	24	6.8%	3.5%	4.9%	1.6%	2.5%
(5) まったく思わない	4	1.1%	1.7%	2.9%	2.1%	2.1%
(6) 校内にかざりはなかった	5	1.4%	2.7%	3.1%		
無回答	0	0.0%	0.5%	3.4%	5.8%	0.0%
計	353	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



問5 地域の人たちの読み聞かせによって、本を読む量は変わりましたか？

	回答数	構成比	R6構成比	R5構成比	R4構成比	R3構成比
(1) たくさん読むようになった	64	15.3%	15.7%	14.3%	14.9%	26.3%
(2) 少し読むようになった	148	35.4%	35.1%	28.6%	38.4%	33.6%
(3) 変わらない	189	45.2%	44.9%	47.6%	36.6%	38.8%
(4) あまり読まなくなった	7	1.7%	1.3%	1.6%	0.4%	0.3%
(5) 読まなくなった	7	1.7%	0.8%	1.0%	0.7%	0.6%
(6) 地域の人たちの読み聞かせはなかった	3	0.7%	2.1%	6.8%		
無回答	0	0.0%	0.2%	0.0%	9.1%	0.3%
計	418	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



令和7年度奥州市学校支援地域本部実行委員会名簿

NO	氏名	役職	備考
1	高橋 勝	奥州市教育委員会教育長	委員長
2	高橋 広明	奥州市立水沢中学校長	委員（本部校長）
3	千田 博之	奥州市立東水沢中学校長	委員（本部校長）
4	千田 裕子	奥州市立水沢南中学校長	委員（本部校長）
5	鈴木 雅孝	奥州市立江刺第一中学校長	委員（本部校長）
6	菅原 純	奥州市立前沢小学校長	委員（本部校長）
7	菅原 文江	奥州市立胆沢中学校長	委員（本部校長）
8	八重畑 亘	奥州市立衣川中学校長	委員（本部校長）
9	小原 君夫	水沢地区町内会連絡協議会長（水沢中本部）	委員（振興会）
10	小野寺 茂美	羽田地区振興会会長（東水沢中本部）	委員（振興会）
11	千葉 弘	南地区民生児童委員協議会長（水沢南中本部）	委員（自治会関係者）
12	千葉 憲雄	岩谷堂地区振興会長（江刺第一中本部）	委員（振興会）
13	香川 博	白山地区振興会長（前沢本部）	委員（振興会）
14	及川 俊和	小山地区振興会長（胆沢中本部）	委員（振興会）
15	今野 弘昭	衣里地区振興会長（衣川中本部）	委員（振興会）
16	千田 将智	水沢中学校PTA会長（水沢中本部）	委員（PTA）
17	千田 崇	奥州市立東水沢中学校PTA会長（東水沢中本部）	委員（PTA）
18	千葉 康行	水沢南中学校PTA会長（水沢南中本部）	委員（PTA）
19	後藤 亮彦	江刺第一中学校PTA副会長（江刺第一中本部）	委員（PTA）
20	阿部 正春	前沢小学校PTA副会長（前沢本部）	委員（PTA）
21	藤田 栄貴	奥州市立胆沢中学校PTA副会長（胆沢中本部）	委員（PTA）
22	門脇 徹	衣里小学校PTA会長（衣川中本部）	委員（PTA）
23	高橋 育子	地域コーディネーター（水沢中本部）	委員
24	田村 恵美子	地域コーディネーター（東水沢中本部）	委員
25	菅原 真澄	地域コーディネーター（水沢南中本部）	委員
26	菊地 喜久子	地域コーディネーター（江刺第一中本部）	委員
27	岩渕 美樹	地域コーディネーター（前沢本部）	委員
28	高橋 加奈子	地域コーディネーター（胆沢中本部）	委員
29	石川 隆信	地域コーディネーター（衣川中本部）	委員
30	横山 剛	地域コーディネーター（衣川中本部）	委員
31	花輪 忠紘	県南教育事務所社会教育主事	アドバイザー
32	千葉 達也	奥州市協働まちづくり部長	事務局長
33	菊池 淳	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長	事務局員
34	千田 有美	奥州市教育委員会学校教育課長	事務局員
35	安倍 貴史	奥州市教育委員会学校教育課長補佐	事務局員
36	柴田 長志	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長補佐	事務局員
37	佐藤 千佳子	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課生涯学習係長	事務局員
38	亀井 麗	奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課生涯学習係主事	事務局員

奥州市学校支援地域本部事業成果報告書

発行 令和8年3月

編集 奥州市学校支援地域本部実行委員会

(奥州市協働まちづくり部生涯学習スポーツ課)
